

令和8年度

活性炭注入施設ほか塗装修繕工事

設 計 書

福島地方水道用水供給企業団

令和8年度 契約第 号

設 計 書

作成 令和 8年 4月 1日

工 事 名	活性炭注入施設ほか塗装修繕工事		
工 事 箇 所	福島市飯坂町字沼ノ上1番地の1ほか		
工 事 金 額	工 事 期 間	自 令 和 年 月 日	153 日間
		至 令 和 年 月 日	
起 工 ・ 変 更 理 由	工 事 仕 様 概 要		
<p>本工事は、令和8年度事業計画に基づき、活性炭注入施設及び福島南部受水池流量計室並びに安達受水池流量計室の塗装修繕を実施するものです。</p>	特記仕様書		
	建築関係工事共通仕様書(福島県土木部)		
	公共建築改修工事標準仕様書(国土交通省監修)		
	【活性炭注入施設】		
	塗装修繕工 外壁・鉄鋼面 636.0 m ²		
【福島南部受水池流量計室】			
塗装修繕工 外壁・鉄鋼面・FRP 91.4 m ²			
防水改修工 外部床・屋根 95.7 m ²			
【安達受水池流量計室】			
塗装修繕工 外壁・鉄鋼面 87.8 m ²			
防水改修工 外部床・屋根 43.4 m ²			

企業長	
○	
事務局長	
次 長	
技術管理者	施設管理課長
○	
課長補佐	施設係長
検 算	設 計

福島地方水道用水供給企業団

工事概要書

工事名：活性炭注入施設ほか塗装修繕工事

施工場所：福島市飯坂町字沼ノ上1番地の1ほか

工事概要：本工事は、活性炭注入施設及び福島南部受水池流量計室並びに安達受水池流量計室の3施設について経年と紫外線の影響により、外壁・屋根・床等に劣化が見られ、建屋本体の機能に支障が生じていることから、建築施設の長寿命化対策と機能面の保持を目的に塗装替えを行うものです。
また、雨漏りや雨だれによる建屋内部の鉄筋の防食対策として防水工事を併せて実施するものです。

工種	規格・寸法	単位	数量		備考
			変更前	変更後	
【活性炭注入施設】					
準備工		式	1.0		
外壁面調査	目視、打診による確認、マーキング、計測、図面記入	m ²	423.0		
仮設工		式	1.0		
足場	手摺先行くさび緊結式 幅600mm 20m未満 3ヶ月	掛m ²	569.0		
垂直養生	メッシュシート 3ヶ月	掛m ²	569.0		
養生清掃	外壁	m ²	46.0		
部分養生	開口部	m ²	35.0		
塗装修繕工		式	1.0		
外壁改修		式	1.0		
クラック補修	Uカット 可とう性Eポキシ樹脂充填工法 クラック幅1.0mm超過	m	42.3		
クラック補修	Eポキシ樹脂注入(ボンド OGS相当) クラック幅0.3~1.0mm未満	m	42.3		
素地調整	サンダー工法 コンクリート面 RB種	m ²	423.0		
水洗い清掃	高圧ポンプ10~15Mpa コンクリート面	m ²	423.0		
クラック補修部パターン付	ローラー幅5cm 材工共	m ²	2.1		
下地調整(C1)	塗厚1mm以上 材工共	m ²	2.1		
上塗り(下・中・上塗り)	可とう形改修塗材RE ふっ素厚付け 下・中・上塗り(各1回)	m ²	423.0		

工種	規格・寸法	単位	数量		備考
			変更前	変更後	
屋外鉄鋼面		式	1.0		
素地調整	サンダー工法 鉄鋼面 RB種	m ²	213.0		
水洗い清掃	高圧ポンプ10~15Mpa コンクリート面	m ²	213.0		
下塗り	変性エポキシ樹脂プライマー 2回塗り 材工共	m ²	213.0		
上塗り(中・上塗り)	耐候性塗料DP同等 ふっ素樹脂塗料 材工共	m ²	213.0		
塗装施工板		式	1.0		
塗装記録板	150×250 アクリルライト 材工共	枚	1.0		
シーリング改修工		式	1.0		
シーリング設置		式	1.0		
打継目地シーリング	ポリウレタン系 PU-2 25×10 材工共	m	38.0		
成型セメント板取合シーリング	ポリウレタン系 PU-2 15×10 材工共	m	47.0		
建具廻りシーリング	ポリウレタン系 PU-2 15×10 材工共	m	9.0		
建具廻りシーリング	ポリウレタン系 PU-2 10×10 材工共	m	9.0		
建具廻りシーリング	ポリウレタン系 PU-2 10×7 材工共	m	11.0		
建具廻りシーリング	ポリウレタン系 PU-2 20×10 材工共	m	13.0		
ガラス止めシーリング	シリコーン系 10×7 材工共	m	75.0		
シーリング撤去		式	1.0		
シーリング撤去	10~20mm程度×7~10mm程度 撤去・集積含	m	202.0		
産業廃棄物処理工		式	1.0		
産業廃棄物運搬		式	1.0		
廃プラスチック	2t車 人力 L=27.5km以下	台	1.0		
産業廃棄物処理		式	1.0		
廃プラスチック	中間処理(恵和興業株)	m ³	0.1		

工種	規格・寸法	単位	数量		備考
			変更前	変更後	
【福島南部受水池流量計室】					
準備工		式	1.0		
外壁面調査	目視、打診による確認、マーキング、計測、図面記入	m ²	135.6		
仮設工		式	1.0		
足場	手摺先行くさび緊結式 幅600mm 10m未満 1ヶ月	掛m ²	93.1		
垂直養生	fc	掛m ²	93.1		
養生清掃	外壁、外部床	m ²	67.4		
部分養生	開口部	m ²	6.3		
塗装修繕工		式	1.0		
外壁改修		式	1.0		
クラック補修	Uカット 可とう性珪砂樹脂充填工法 幅1.0mm超過	m	7.3		
クラック補修	珪砂樹脂注入(ボンド OGS相当) クラック幅0.3~1.0mm未満	m	7.3		
素地調整	サンダー工法 コンクリート面 RB種	m ²	73.3		
水洗い清掃	高圧ポンプ10~15Mpa コンクリート面	m ²	73.3		
クラック補修部パターン付	ローラー幅5cm 材工共	m ²	0.4		
下地調整(C1)	塗厚1mm以上 材工共	m ²	0.4		
上塗り(下・中・上塗り)	可とう形改修塗材RE ふっ素厚付け 下・中・上塗り(各1回)	m ²	73.3		
屋外鉄鋼面		式	1.0		
素地調整	サンダー工法 鉄鋼面 RB種	m ²	14.0		
水洗い清掃	高圧ポンプ10~15Mpa コンクリート面	m ²	14.0		
下塗り	変性エポキシ樹脂プライマー 2回塗り 材工共	m ²	14.0		
上塗り(中・上塗り)	耐候性塗料DP同等 ふっ素樹脂塗料 材工共	m ²	14.0		
屋外FRP面		式	1.0		
素地調整	サンダー工法 鉄鋼面 RB種	m ²	4.1		
水洗い清掃	高圧ポンプ10~15Mpa コンクリート面	m ²	4.1		

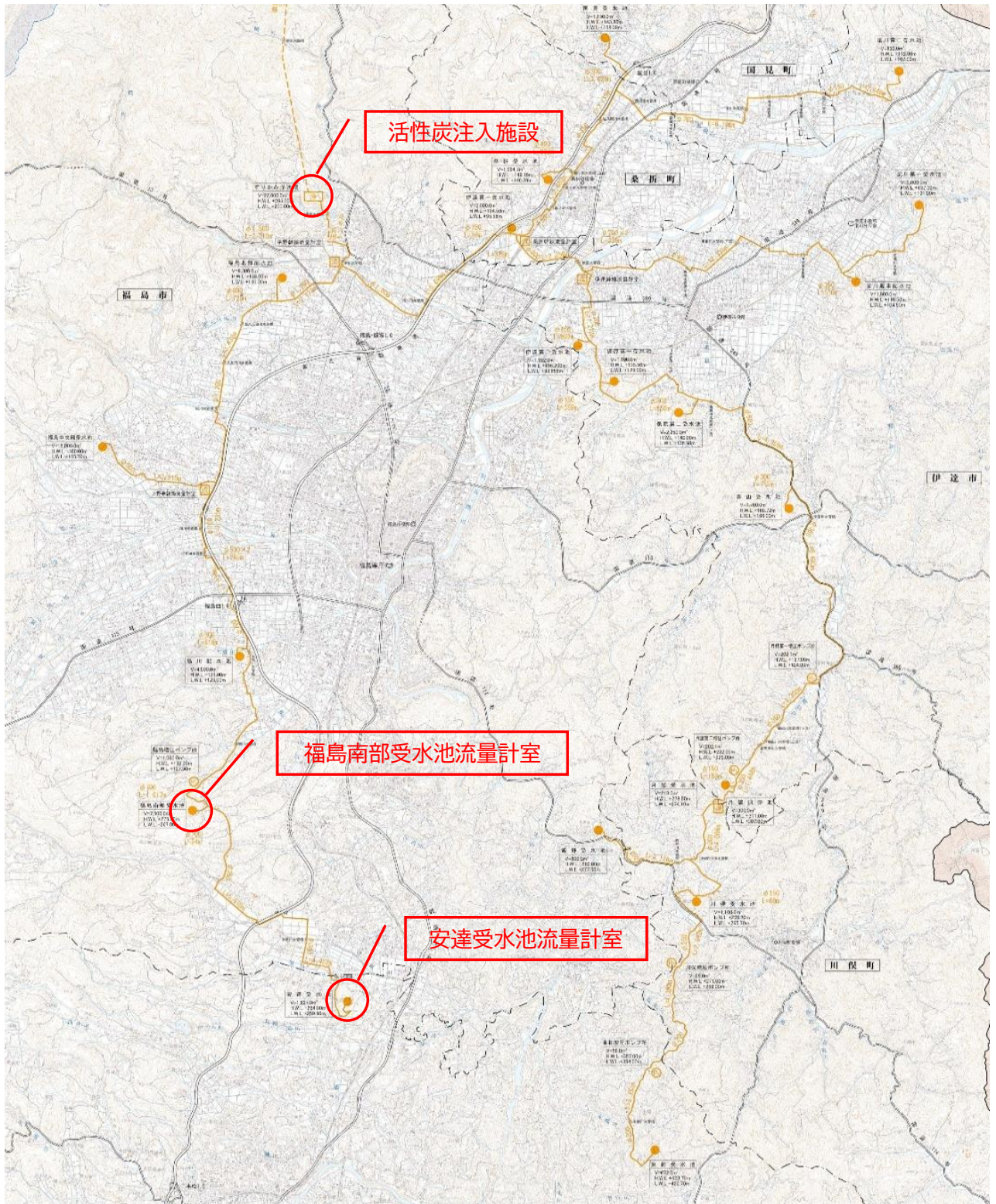
工種	規格・寸法	単位	数量		備考
			変更前	変更後	
下塗り	変性エポキシ樹脂プライマー 2回塗り 材工共	m ²	4.1		
上塗り(中・上塗り)	耐候性塗料DP同等 ふっ素樹脂塗料 材工共	m ²	4.1		
塗装施工板		式	1.0		
塗装記録板	150×250 アクリルライト 材工共	枚	1.0		
防水改修工		式	1.0		
外部床防水		式	1.0		
既設防水保護層劣化部撤去	防水保護コンクリート t=30mm程度	m ²	6.2		
素地調整	RB種ケレン・清掃	m ²	56.0		
水洗い清掃	高圧ポンプ10～15Mpa	m ²	56.0		
既設防水保護層撤去部補修	ポリマーセメントペースト 部分補修(t=3cm程度) 材工共	m ²	6.2		
Uカット	既設防水モルタル10×10	m	22.7		
シーリング	10×10 材工共	m	22.7		
ウレタンゴム系塗膜防水工法	X-2 平場 材工共	m ²	44.8		
ウレタンゴム系塗膜防水工法	X-2 立上り 材工共	m ²	17.4		
屋根防水改修		式	1.0		
既存シート防水層撤去	既存ゴムシート、アルミ金物含む	m ²	33.5		
素地調整	RB種ケレン・清掃	m ²	33.5		
水洗い清掃	高圧ポンプ10～15Mpa	m ²	33.5		
下地調整(C1)	塗圧1mm以上 材工共	m ²	33.5		
合成高分子系ルフィングシート防水工法	接着工法 S-F2 材工共	m ²	33.5		
アルミ金物取付	シート端部押え金物 材工共	m	23.4		
防水施工板		式	1.0		
表示板(施工歴標)	黄銅製 文字含む 150×250 アクリルライト 材工共	枚	1.0		
シーリング改修工		式	1.0		
シーリング設置		式	1.0		

工種	規格・寸法	単位	数量		備考
			変更前	変更後	
建具廻り	MS-2 15×10 材工共	m	13.4		
巾木目地	MS-2 20×15 材工共	m	18.6		
シート防水押え目地	PU-2 15×10 材工共	m	23.4		
シーリング撤去		式	1.0		
シーリング撤去	20~15mm程度×10~15mm程度 撤去・集積含	m	55.4		
産業廃棄物処理工		式	1.0		
産業廃棄物運搬		式	1.0		
コンクリート殻	2t車 人力 L=6.5km以下	台	1.0		
廃プラスチック	2t車 人力 L=6.5km以下	台	1.0		
アルミくず	2t車 人力 L=2.0km以下	台	1.0		
産業廃棄物処理		式	1.0		
コンクリート殻	中間処理（阿部建材工業(株)音坊処分場）	t	0.4		
廃プラスチック	最終処理（阿部建材工業(株)音坊処分場）	m ³	0.1		
アルミくず	込みガラ	kg	22.0		
【安達受水池流量計室】					
準備工		式	1.0		
外壁面調査	目視、打診による確認、マーキング、計測、図面記入	m ²	82.7		
仮設工		式	1.0		
足場	手摺先行くさび緊結式 幅600mm 10m未満 1ヶ月	掛m ²	95.2		
垂直養生	メッシュシート 1ヶ月	掛m ²	95.2		
養生清掃	外壁、外部床	m ²	23.2		
部分養生	開口部	m ²	6.3		
塗装修繕工		式	1.0		
外壁改修		式	1.0		
クラック補修	Uカット 可とう性珪酸樹脂充填工法 幅1.0mm超過	m	7.4		

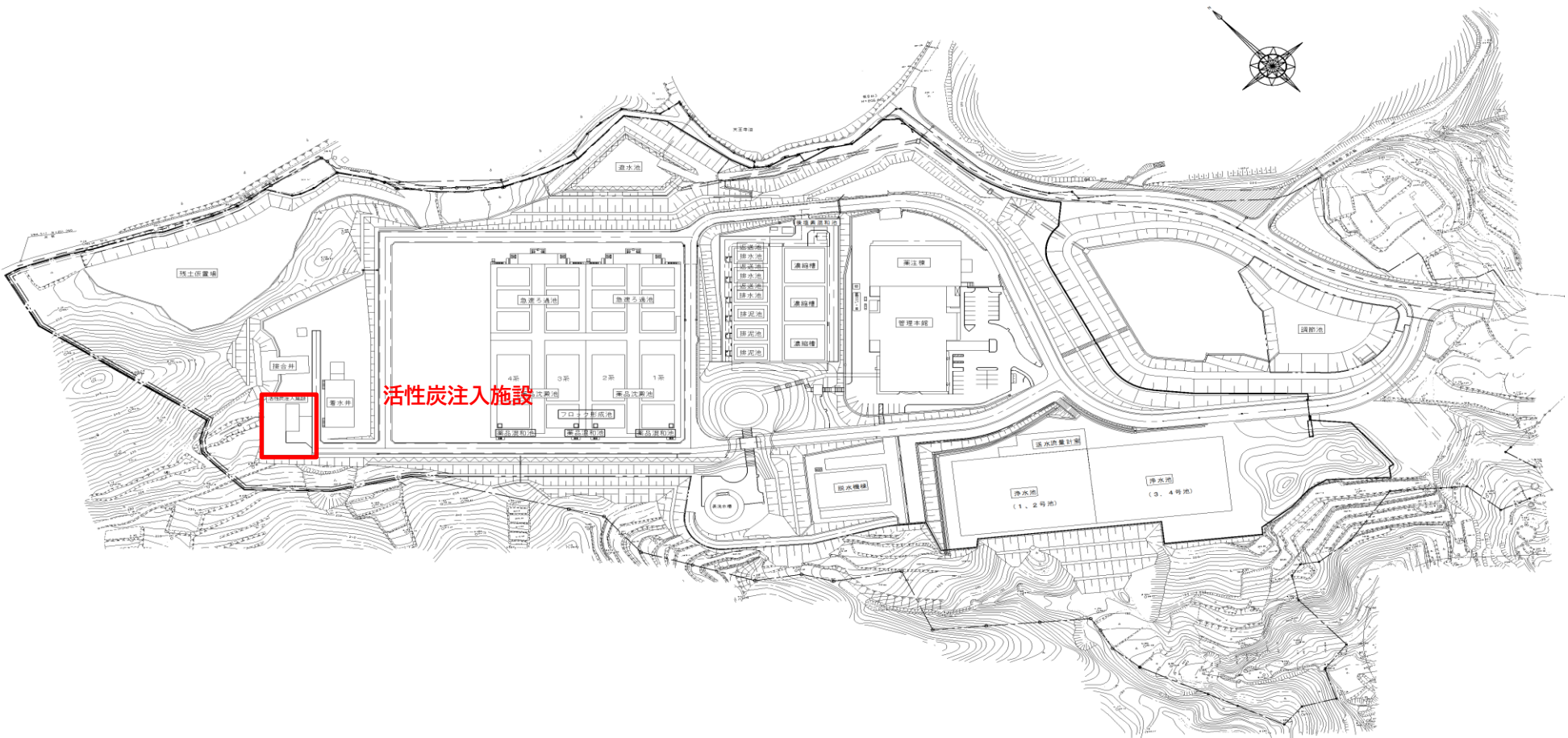
工種	規格・寸法	単位	数量		備考
			変更前	変更後	
クラック補修	珪酸樹脂注入(ボンド OGS相当) クラック幅0.3~1.0mm未満	m	7.4		
素地調整	サンダー工法 コンクリート面 RB種	m ²	74.3		
水洗い清掃	高圧ポンプ10~15Mpa コンクリート面	m ²	74.3		
クラック補修部パターン付	ローラー幅5cm 材工共	m ²	0.4		
下地調整(C1)	塗厚1mm以上 材工共	m ²	0.4		
上塗り(下・中・上塗り)	可とう形改修塗材RE ふっ素厚付け 下・中・上塗り(各1回)	m ²	74.3		
屋外鉄鋼面		式	1.0		
素地調整	サンダー工法 鉄鋼面 RB種	m ²	13.5		
水洗い清掃	高圧ポンプ10~15Mpa コンクリート面	m ²	13.5		
下塗り	変性エポキシ樹脂プライマー 2回塗り 材工共	m ²	13.5		
上塗り(中・上塗り)	耐候性塗料DP同等 ふっ素樹脂塗料 材工共	m ²	13.5		
塗装施工板		式	1.0		
塗装記録板	150×250 アクリルライト 材工共	枚	1.0		
防水改修工		式	1.0		
外部床防水		式	1.0		
既設防水保護層劣化部撤去	防水保護コンクリート t=30mm程度	m ²	0.8		
素地調整	RB種ケレン・清掃	m ²	7.6		
水洗い清掃	高圧ポンプ10~15Mpa	m ²	8.4		
既設防水保護層撤去部補修	ポリマーセメントペースト 部分補修(t=3cm程度) 材工共	m ²	0.8		
ウレタンゴム系塗膜防水工法	X-2 平場 材工共	m ²	6.3		
ウレタンゴム系塗膜防水工法	X-2 立上り 材工共	m ²	2.1		
屋根防水改修		式	1.0		
既存シート防水層撤去	既存ゴムシート、アルミ金物含む	m ²	35.0		
素地調整	RB種ケレン・清掃	m ²	35.0		
水洗い清掃	高圧ポンプ10~15Mpa	m ²	35.0		

工種	規格・寸法	単位	数量		備考
			変更前	変更後	
下地調整(C1)	塗圧1mm以上 材工共	m ²	35.0		
合成高分子系ルフィングシート防水工法	接着工法 S-F2 材工共	m ²	35.0		
アルミ金物取付	シート端部押え金物 材工共	m	24.0		
防水施工板		式	1.0		
表示板(施工歴標)	黄銅製 文字含む 150×250 アクリルライト 材工共	枚	1.0		
シーリング改修工		式	1.0		
シーリング設置		式	1.0		
防水押端部シーリング	MS-2 10×7 材工共	m	48.0		
打継目地シーリング	PS-2 20×10 材工共	m	17.0		
建具廻りシーリング	MS-2 10×7 材工共	m	13.4		
ガラス止めシーリング	PU-2 10×10 材工共	m	6.0		
シーリング撤去		式	1.0		
シーリング撤去	20~15mm程度×10~15mm程度 撤去・集積含	m	84.4		
産業廃棄物処理工		式	1.0		
産業廃棄物運搬		式	1.0		
コンクリート殻	2t車 人力 L=5.0km以下	台	1.0		
廃プラスチック	2t車 人力 L=27.5km以下	台	1.0		
アルミくず	2t車 人力 L=2.0km以下	台	1.0		
産業廃棄物処理		式	1.0		
コンクリート殻	中間処理(株福島アスコ)	t	0.06		
廃プラスチック	中間処理(恵和興業株)	m ³	0.02		
アルミくず	込みガラ	kg	22.0		

位置図



位置図



名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
直接工事費				CM コメント
活性炭注入施設ほか	1	式		CK 直接工事費
計				CKK 直接工事費計
共通費				CM コメント
共通仮設費	1	式		KK 共通仮設費
現場管理費	1	式		KG 現場管理費
一般管理費等	1	式		KI 一般管理費等
計				KS 共通費計
				CM コメント
工事価格	1	式		KKK 工事価格
消費税等相当額	1	式		消費税率 10 %
工事費	1	式		KH 工事費
				CM コメント
調査基準価格	1	式		CH 調査基準価格
調査基準価格の100/110	1	式		CH2 調査基準価格割戻

名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
活性炭注入施設	1	式		WP
南部受水池流量計室	1	式		WP
安達受水池流量計室	1	式		WP
計				

名	称	数	量	単	位	金	額	備	考
庁舎		1			式			WP	
	計								

名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
庁舎	1	式		WP
計				

名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
庁舎	1	式		WP
計				

庁舎									
名	称	数	量	単	位	金	額	備	考
準備工		1			式			003	
仮設工		1			式			001	
塗装修繕工		1			式			003	
シーリング改修工		1			式			002	
産業廃棄物処理工		1			式			002	
	計								

庁舎									
名	称	数	量	単	位	金	額	備	考
準備工		1		式				001	
仮設工		1		式				001	
塗装修繕工		1		式				006	
防水改修工		1		式				002	
シーリング改修工		1		式				009	
発生材処理		1		式				009	
	計								

庁舎									
名	称	数	量	単	位	金	額	備	考
準備工		1		式				001	
仮設工		1		式				001	
塗装修繕工		1		式				006	
防水改修工		1		式				002	
シーリング改修工		1		式				009	
発生材処理		1		式				009	
	計								

庁舎					
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
準備工		1	式		002
計					
仮設工		1	式		001
計					
塗装修繕工	外壁	1	式		002
塗装修繕工	屋外鉄鋼部（屋根＋鉄鋼扉）	1	式		001
塗装修繕工	塗装施工板	1	式		001
計					
シーリング改修工		1	式		001
計					
産業廃棄物処理工	産業廃棄物運搬	1	式		001
産業廃棄物処理工	産業廃棄物処理	1	式		WP
計					

庁舎					
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
準備工		1	式		001
計					
仮設工		1	式		001
計					
塗装修繕工	改修	1	式		001
計					
防水改修工	改修	1	式		002
計					
シーリング改修工	設置	1	式		001
シーリング改修工	撤去	1	式		002
計					
発生材処理	運搬	1	式		001
発生材処理	処分	1	式		002
計					

庁舎					
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
準備工		1	式		001
計					
仮設工		1	式		001
計					
塗装修繕工	改修	1	式		001
計					
防水改修工	改修	1	式		002
計					
シーリング改修工	設置	1	式		001
シーリング改修工	撤去	1	式		002
計					
発生材処理	運搬	1	式		001
発生材処理	処分	1	式		002
計					

庁舎		準備工				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
事前調査	外壁面等 目視や打診、マーキング、計測、図面記入	423	m ²			代価表 0001
計						

名称	摘要	塗裝修繕工		外壁		備考
		数量	単位	単価	金額	
クラック補修	Uカット可とう性エポキシ樹脂充填工法	42.3	m			代価表 0005
クラック補修	ボンドOGS工法	42.3	m			代価表 0006
素地調整	サンダー工法	423	m ²			代価表 0007
水洗い清掃	高圧ポンプ 10～15MPa	423	m ²			代価表 0008
クラック補修部パターン付		2.1	m ²			(見積り・刊行物等) 見積り
下地調整(外壁)	C-1 塗膜1mm以下 材工共	2.1	m ²			代価表 0015
外壁改修(ふっそ系)厚付け	可とう形改修塗材RE ふっ素下、中、上塗り(各1回)	423	m ²			(見積り・刊行物等) 建築コスト26-4 P437
計						

庁舎		塗装修繕工			屋外鉄鋼部（屋根+鉄鋼扉）		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考	
素地調整	RB種	213	m ²			代価表 0009	
水洗い清掃	高圧ポンプ 10~15MPa	213	m ²			代価表 0008	
下塗り	変性エポキシ樹脂プライマー B種 2回塗り	213	m ²			代価表 0010	
中、上塗り	耐候性塗料DP塗り ふっ素系樹脂塗料	213	m ²			代価表 0011	
計							

庁舎		塗装修繕工		塗装施工板		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
表示板(施工歴標)	150×250 アクリル板4mm 彫込み文字記入共	1	か所			B1-101107 260401A+2 独自
計						

庁舎		シーリング改修工				
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
シーリング設置	打継目地シーリング ポリウレタン系 PU-2 25×10	38	m			(見積り・刊行物等) 見積り
シーリング設置	成型セメント型取合シーリング ポリウレタン系 PU-2 15×10	47	m			(見積り・刊行物等) 見積り
シーリング設置	建具廻りシーリング ポリウレタン系 PU-2 15×10	9	m			(見積り・刊行物等) 見積り
シーリング設置	建具廻りシーリング ポリウレタン系 PU-2 10×10	9	m			(見積り・刊行物等) 見積り
シーリング設置	建具廻りシーリング ポリウレタン系 PU-2 10×7	11	m			(見積り・刊行物等) 見積り
シーリング設置	建具廻りシーリング ポリウレタン系 PU-2 20×10	13	m			(見積り・刊行物等) 見積り
ガラス止めシーリング	シリコーン系 10×7	75	m			(見積り・刊行物等) 見積り
シーリング 撤去	集積共	202	m			B0-281119 260401A+2 標準
計						

庁舎		産業廃棄物処理工		産業廃棄物運搬		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
廃プラスチック類 運搬	ダンプトラック 2t積級 人力積込 - DID区間無し 27.5km以下	1	台			B0-339613 260401A+2 協参
計						

庁舎		産業廃棄物処理工		産業廃棄物処理		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
廃プラスチック類 処理	中間処理 恵和興業㈱ケイワ・リサイクルセンター	0.1	m³			(見積り・刊行物等) 令和8年度 県土参P27
計						

庁舎		準備工				
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
事前調査	外壁面等 目視や打診、マーキング、計測、図面記入	135.6	m ²			代価表 0001
計						

庁舎		仮設工				
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
足場	くさび緊結式足場 手摺先行型 幅600mm 1ヶ月 10m未満昇降施設含む	93.1	掛㎡			代価表 0016
災害防止	垂直養生 メッシュシート 1ヶ月	93.1	掛㎡			代価表 0017
養生清掃		67.4	㎡			代価表 0003
開口部養生		6.3	㎡			代価表 0004
計						

庁舎		塗装修繕工		改修		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
外壁						(コメント)
クラック補修	Uカット可とう性エポキシ樹脂充填工法	7.3	m			代価表 0005
クラック補修	ボンドOGS工法	7.3	m			代価表 0006
素地調整	サンダー工法	73.3	m ²			代価表 0007
水洗い清掃	高圧ポンプ 10～15MPa	73.3	m ²			代価表 0008
クラック補修部パターン付	ローラー幅5cm 材工共	0.4	m ²			(見積り・刊行物等) 見積り
下地調整(外壁)	C-1 塗膜1mm以下 材工共	0.4	m ²			代価表 0015
上塗り	可とう形改修塗材RE 厚付け ふっ素 下、中、上塗り(各1回) 材工共	73.3	m ²			(見積り・刊行物等) 建築コスト26-4 P437
小計						(小計)
屋外鉄鋼面						(コメント)
素地調整	RB種	14	m ²			代価表 0009
水洗い清掃	高圧ポンプ 10～15MPa	14	m ²			代価表 0008
下塗り	変性エポキシ樹脂プライマー B種 2回塗り	14	m ²			代価表 0010
中、上塗り	耐候性塗料DP塗り ふっ素系樹脂塗料	14	m ²			代価表 0011
小計						(小計)
素地調整	RB種	4.1	m ²			代価表 0009
水洗い清掃	高圧ポンプ 10～15MPa	4.1	m ²			代価表 0008
下塗り	変性エポキシ樹脂プライマー B種 2回塗り	4.1	m ²			代価表 0010
中、上塗り	耐候性塗料DP塗り ふっ素系樹脂塗料	4.1	m ²			代価表 0011
小計						(小計)

庁舎		塗装修繕工		改修		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
塗装施工板						(コメント)
表示板(施工歴標)	150 × 250 アクリル板4mm 彫込み文字記入共	1	か所			B1-101107 260401A+2 独自
小計						(小計)
計						

庁舎		防水改修工		改修		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
外部床防水						(コメント)
既設防水保護層劣 化部撤去	防水保護コンクリート t=30mm程度	6.2	m ²			(見積り・刊行物等) 見積り
素地調整	サンダー工法	56	m ²			代価表 0007
水洗い清掃	高圧ポンプ 10～15MPa	56	m ²			代価表 0008
既設防水保護層劣 化部補修	ポリマーセメント 部分補修 t=30 mm程度 材工共	6.2	m ²			(見積り・刊行物等) 見積り
Uカット	既存防水モルタル 10×10	22.7	m			(見積り・刊行物等) 見積り
シーリング	MS-2 10×10 材工共	22.7	m			(見積り・刊行物等) 見積り
ウレタンゴム系塗 膜防水工法	X-2 材工共 平場	44.8	m ²			(見積り・刊行物等) 見積り
ウレタンゴム系塗 膜防水工法	X-2 材工共 立上り	17.4	m ²			(見積り・刊行物等) 見積り
小計						(小計)
屋根防水改修						(コメント)
既存シート防水層 撤去	既存ゴムシート、アルミ金物含む	33.5	m ²			(見積り・刊行物等) 見積り
素地調整	サンダー工法	33.5	m ²			代価表 0007
水洗い清掃	高圧ポンプ 10～15MPa	33.5	m ²			代価表 0008
下地調整(外壁)	C-1 塗膜1mm以下 材工共	33.5	m ²			代価表 0015
合成高分子系ルー フィングシート防 水工法	接着工法S-F2 材工共	33.5	m ²			(見積り・刊行物等) 見積り
アルミ金物取付	シート端部押え金物 材工共	23.4	m			(見積り・刊行物等) 見積り
小計						(小計)
防水施工板						(コメント)
表示板(施工歴標)	150×250 黄銅板72mm 彫込み文字(ボツ)記入	1	か所			B1-101107 260401A+2 独自

庁舎		シーリング改修工			撤去		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考	
シーリング 撤去	集積共	55.4	m			B0-281119 260401A+2 標準	
計							

庁舎		発生材処理		運搬		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
とりこわし 発生材運搬	ダンプトラック 2t積級 人力積込 - DID区間無し 6.5km以下	1	台			B0-339613 260401A+2 協参
とりこわし 発生材運搬	ダンプトラック 2t積級 人力積込 - DID区間無し 6.5km以下	1	台			B0-339613 260401A+2 協参
とりこわし 発生材運搬	ダンプトラック 2t積級 人力積込 - DID区間無し 2.0km以下	1	台			B0-339613 260401A+2 協参
計						

庁舎		発生材処理		処分		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
コンクリート殻処理	中間処理 阿部建材工業㈱	0.4	t			代価表 0018
廃プラスチック処分	最終処分 阿部建材工業㈱	0.1	m3			代価表 0019
アルミくず(スクラップ)		22	kg			代価表 0022
計						

庁舎		仮設工				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
足場	くさび緊結式足場 手摺先行型 幅600mm 1ヶ月 10m未満昇降施設含む	95.2	掛㎡			代価表 0016
災害防止	垂直養生 メッシュシート 1ヶ月	95.2	掛㎡			代価表 0017
養生清掃		23.2	㎡			代価表 0003
開口部養生		6.3	㎡			代価表 0004
計						

庁舎		塗装修繕工		改修		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
外壁						(コメント)
クラック補修	Uカット可とう性エポキシ樹脂充填 工法	7.4	m			代価表 0005
クラック補修	ボンドOGS工法	7.4	m			代価表 0006
素地調整	サンダー工法	74.3	m ²			代価表 0007
水洗い清掃	高圧ポンプ 10～15MPa	74.3	m ²			代価表 0008
クラック補修部パ ターン付	ローラー幅5cm 材工共	0.4	m ²			(見積り・刊行物等) 見積り
下地調整(外壁)	C-1 塗膜1mm以下 材工共	0.4	m ²			代価表 0015
上塗り	可とう形改修塗材RE 厚付け ぷっ 素 下、中、上塗り(各1回) 材 工共	74.3	m ²			(見積り・刊行物等) 建築コスト26-4 P437
小計						(小計)
屋外鉄鋼面						(コメント)
素地調整	RB種	13.5	m ²			代価表 0009
水洗い清掃	高圧ポンプ 10～15MPa	13.5	m ²			代価表 0008
下塗り	変性エポキシ樹脂プライマー B種 2回塗り	13.5	m ²			代価表 0010
中、上塗り	耐候性塗料DP塗り ぷっ素系樹脂塗料	13.5	m ²			代価表 0011
小計						(小計)
塗装施工板						(コメント)
表示板(施工歴標)	150×250 アクリライト4mm 彫込み文字記入共	1	か所			B1-101107 260401A+2 独自
小計						(小計)
計						

庁舎		防水改修工		改修		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
外部床防水						(コメント)
既設防水保護層劣化部撤去	防水保護コンクリート t=30mm程度	0.8	m ²			(見積り・刊行物等) 見積り
素地調整	サンダー工法	7.8	m ²			代価表 0007
水洗い清掃	高圧ポンプ 10～15MPa	8.4	m ²			代価表 0008
既設防水保護層劣化部補修	ポリマーセメント 部分補修 t=30mm程度 材工共	0.8	m ²			(見積り・刊行物等) 見積り
ウレタンゴム系塗膜防水工法	X-2 平場 材工共	6.3	m ²			(見積り・刊行物等) 見積り
ウレタンゴム系塗膜防水工法	X-2 立上り 材工共	2.1	m ²			(見積り・刊行物等) 見積り
小計						(小計)
屋根防水改修						(コメント)
既存シート防水層撤去	既存ゴムシート、アルミ金物含む	35	m ²			(見積り・刊行物等) 見積り
素地調整	サンダー工法	35	m ²			代価表 0007
水洗い清掃	高圧ポンプ 10～15MPa	35	m ²			代価表 0008
下地調整(外壁)	C-1 塗膜1mm以下 材工共	35	m ²			代価表 0015
合成高分子系ルーフィングシート防水工法	接着工法S-F2 材工共	35	m ²			(見積り・刊行物等) 見積り
アルミ金物取付	シート端部押え金物 材工共	24	m			(見積り・刊行物等) 見積り
小計						(小計)
防水施工板						(コメント)
表示板(施工歴標)	150×250 黄銅板F2mm 彫込み文字(ホ)ンチ記入	1	か所			B1-101107 260401A+2 独自
小計						(小計)
計						

庁舎		シーリング改修工			設置	
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
防水押端部	MS-2 10×7 材工共	48	m			(見積り・刊行物等) 見積り
打継目地	一般部 ホリクワイト'系(PS-2) 20×10	17	m			B0-531614 260401A+2 書換 見積り
建具廻り	MS-2 10×7 材工共	13.4	m			(見積り・刊行物等) 見積り
ガラス止め	一般部 ホリクワイト系(PU-2) 10×10	6	m			B0-531614 260401A+2 市場
計						

庁舎		シーリング改修工			撤去		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考	
シーリング撤去	集積共	84.4	m			B0-281119 260401A+2 標準	
計							

庁舎		発生材処理		運搬		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
とりこわし 発生材運搬	ダンプトラック 2t積級 人力積込 - DID区間無し 5.0km以下	1	台			B0-339613 260401A+2 協参
とりこわし 発生材運搬	ダンプトラック 2t積級 人力積込 - DID区間無し 27.5km以下	1	台			B0-339613 260401A+2 協参
とりこわし 発生材運搬	ダンプトラック 2t積級 人力積込 - DID区間無し 2.0km以下	1	台			B0-339613 260401A+2 協参
計						

その他							
名称	摘要	単位	数量	単価	金額	丸め	備考
事前調査	外壁面等 目視や打診、マキツ、計測、図面記入	m ²	1			有り	代価表 0001
災害防止	垂直養生 メッシュシート 3ヶ月	掛m ²	1			有り	代価表 0002
養生清掃		m ²	1			有り	代価表 0003
開口部養生		m ²	1			有り	代価表 0004
クラック補修	Uカット可とう性エポキシ樹脂充填 工法	m	1			有り	代価表 0005
クラック補修	ボンドOGS工法	m	1			有り	代価表 0006
素地調整	サンダー工法	m ²	1			有り	代価表 0007
水洗い清掃	高圧ポンプ 10～15MPa	m ²	1			有り	代価表 0008
素地調整	RB種	m ²	1			有り	代価表 0009
下塗り	変性エポキシ樹脂プライマー B種 2回塗り	m ²	1			有り	代価表 0010
中、上塗り	耐候性塗料DP塗り ふっ素系樹脂塗料	m ²	1			有り	代価表 0011
足場	くさび緊結式足場 手摺先行型 幅600mm 3ヶ月 20m未満昇降設備含む	掛m ²	1			有り	代価表 0013
下地調整(外壁)	C-1 塗膜1mm以下 材工共	m ²	1			有り	代価表 0015
足場	くさび緊結式足場 手摺先行型 幅600mm 1ヶ月 10m未満昇降設備含む	掛m ²	1			有り	代価表 0016
災害防止	垂直養生 メッシュシート 1ヵ月	掛m ²	1			有り	代価表 0017
コンクリート殻処理	中間処理 阿部建材工業㈱	t	1			有り	代価表 0018
廃プラスチック処分	最終処分 阿部建材工業㈱	m ³	1			有り	代価表 0019
コンクリート殻処理	中間処理 (株)福島アスコン	t	1			有り	代価表 0020
廃プラスチック処分	中間処理 恵和興業㈱ケイワ・リサイクルセンター福島	m ³	1			有り	代価表 0021
アルミくず(スクラップ)		kg	1			有り	代価表 0022

その他							
名称	摘要	単位	数量	単価	金額	丸め	備考
工事名表示板	木材使用 据付撤去含む	基	1			有り	代価表 0030
交通誘導員	交通誘導員B	人	1			有り	代価表 0031

その他									
名 称	摘 要	単 位	数 量	乗 率	単 価	金 額	率対象	備 考	
事前調査	外壁面等 目視や打診、マーキング、計測、図面記入	m ²	1						代価表 0001
事前調査		m ²	1	1					(見積り・刊行物等) 建築施工単価26-4 P468 建築コスト26-4 P436
計									
災害防止	垂直養生 メッシュシート 3ヶ月	掛m ²	1						代価表 0002
災害防止	仮設工	掛m ²	1	1.03					(見積り・刊行物等) 建築施工単価26-4 P122
計									
養生清掃		m ²	1						代価表 0003
養生清掃	外壁・外部床	m ²	1	1.03					(見積り・刊行物等) 建築施工単価26-4 P112 建築コスト26-4 P114
計									
開口部養生		m ²	1						代価表 0004
開口部養生	部分養生	m ²	1	1.03					(見積り・刊行物等) 建築コスト26-4 P114
計									
クラック補修	Uカット可とう性エポキシ樹脂充填 工法	m	1						代価表 0005
クラック補修	塗装修繕工	m	1	1					(見積り・刊行物等) 見積り
計									

その他									
名 称	摘 要	単 位	数 量	乗 率	単 価	金 額	率対象	備 考	
クラック補修	ボンドOGS工法	m	1					代価表 0006	
クラック補修	塗装修繕工	m	1	1				(見積り・刊行物等) 見積り	
計									
素地調整	サンダー工法	m ²	1					代価表 0007	
RB種 3種ケレン C	塗装修繕工	m ²	1	1.04				(見積り・刊行物等) 建築施工単価26-4 P468 建築コスト26-4 P436	
計									
水洗い清掃	高圧ポンプ 10~15MPa	m ²	1					代価表 0008	
水洗い	塗装修繕工	m ²	1	1				(見積り・刊行物等) 建築施工単価26-4 P468 建築コスト26-4 P437	
計									
素地調整	RB種	m ²	1					代価表 0009	
既存塗膜除去	塗装修繕工	m ²	1	1.04				(見積り・刊行物等) 建築施工単価26-4 P482 建築コスト26-4 P452	
計									
下塗り	変性エポキシ樹脂プライマー B種 2回塗り	m ²	1					代価表 0010	
下塗り	塗装修繕工	m ²	1	1.04				(見積り・刊行物等) 建築コスト26-4 P452	
計									

その他									
名 称	摘 要	単 位	数 量	乗 率	単 価	金 額	率対象	備 考	
中、上塗り	耐候性塗料DP塗り ふっ素系樹脂塗料	m ²	1					代価表 0011	
上塗り	塗装修繕工	m ²	1	1.04				(見積り・刊行物等) 建築施工単価26-4 P486 建築コスト26-4 P454	
計									
足場	くさび緊結式足場 手摺先行型 幅600mm 3ヶ月 20m未満昇降設備含む	掛m ²	1					代価表 0013	
足場		掛m ²	1	1.03				(見積り・刊行物等) 建築施工単価26-4 P118 建築コスト26-4 P116	
計									
下地調整(外壁)	C-1 塗膜1mm以下 材工共	m ²	1					代価表 0015	
		m ²	1	1.04				(見積り・刊行物等) 建築コスト26-4 P437	
計									
足場	くさび緊結式足場 手摺先行型 幅600mm 1ヶ月 10m未満昇降施設含む	掛m ²	1					代価表 0016	
		掛m ²	1	1.03				(見積り・刊行物等) 建築施工単価26-4 P118	
計									
災害防止	垂直養生 メッシュシート 1カ月	掛m ²	1					代価表 0017	
		掛m ²	1	1.03				(見積り・刊行物等) 建築施工単価26-4 P122参	
計									

その他									
名 称	摘 要	単 位	数 量	乗 率	単 価	金 額	率対象	備 考	
コンクリート殻処理	中間処理 阿部建材工業㈱	t	1						代価表 0018
		t	1	1					(見積り・刊行物等) 土木・建築関係事業単価表 (参考) P27
計									
廃プラスチック処分	最終処分 阿部建材工業㈱	m3	1						代価表 0019
		m3	1	1					(見積り・刊行物等) 土木・建築関係事業単価表 (参考) P47
計									
コンクリート殻処理	中間処理 ㈱福島アスコン	t	1						代価表 0020
		t	1	1					(見積り・刊行物等) 土木・建築関係事業単価表 (参考) P28
計									
廃プラスチック処分	中間処理 恵和興業㈱ケイワ・リサイクルセンター福島	m3	1						代価表 0021
		m3	1	1					(見積り・刊行物等) 土木・建築関係事業単価表 (参考) P27
計									
アルミくず(スクラップ)		kg	1						代価表 0022
		kg	1	1					(見積り・刊行物等) 積算資料26-4 P77 建設物価26-4 P797
計									

その他									
名称	摘要	単位	数量	乗率	単価	金額	率対象	備考	
工事名表示板	木材使用 据付撤去含む	基	1						代価表 0030
		基	1	1					(見積り・刊行物等) 土木事業単価 R8.4.1
計									
交通誘導員	交通誘導員B	人	1						代価表 0031
		人	1	1					(見積り・刊行物等) 土木事業単価 R8.4.1
諸経費(労)		式	1	0					
計									

は諸経費(労)の率対象、 は諸経費(労以外)の率対象、 は諸経費(他)の率対象

企業団建築関係工事特記仕様書 [R7年1月版]

I 工事概要

- 1 工事名称
2 工事場所
3 地所概要

活性炭注入施設ほか塗装修繕工事

福島市飯坂町字沼ノ上1番地の1ほか

Table with 6 columns: 建物名称, 構造, 階数, 延面積 (㎡), 消防法施行令別表第1区分, 備考

4 電気設備工事概要

Table with 2 columns: 受電設備, 電力計測設備, 送電設備, 中央監視制御装置

5 機械設備工事概要

Table with 2 columns: 建築機器の種類, 主要機器の種類

II 工事仕様

- 1 図面及び本特記仕様書に影響を及ぼす事項は、次に示す。
2 項目は、番号の順に○印、または番号に○印の付いたものを適用する。
3 特記事項は、○印の付いたものを適用する。
4 形状寸法の単位は、特記した場合は除きミリメートルとする。
5 各条の特記事項適用に関する〔 〕と表示されているものは、「建築関係工事特記仕様書」を示し、〔 〕書きは「公共建築工事特記仕様書」、〔 〕書きは「公共建築改修工事特記仕様書」の章・項等である。
6 本特記仕様書に抵触項目がない場合は、標準等に仕様を記載する。

Main specification table with columns: 項目, 特記事項

Table with 2 columns: 1 一般共通事項, 2 仮設工事

1 防水改修工事

1 降雨等に対する養生方法(とい等) ※改修仕様 3.1.3(6)~(9)による () [3.1.3]

2 既存防水の処理
 既存保護層の撤去 ○行う(範囲・明示による) () [3.2.3~4] [3.2.6]
 行わない ()
 既存防水層の撤去 ○行う(範囲・明示による) ()
 行わない ()
 露出防水層表面の仕上げ撤去方法 行う(M4AS・M4AS I・M4C・M4DI・L4X)
 行わない ()

3 既存防水層の下部処理
 補修箇所の形状、長さ、数量等 ※明示による () [3.2.6]

4 アスファルト防水
 表3.3.1 [3.3.3] [表3.3.3~表3.3.10]
 新設防水層の種類

5 防水立上り部の取付方法
 防水立上り部の取付方法 [3.3.2~3] [3.3.6] [表3.3.3~表3.3.10]
 ・既設改修仕様(性能は建築材料等品質性能表による)
 ・セメント()
 ・ ()

6 改修アスファルトシート防水
 表3.3.1 [3.4.2~3] [表3.4.1~3]
 施工箇所 工法 新設防水層の種類 仕上塗料

7 遮熱防水
 表3.1.1 [3.5.2~3] [表3.5.1~2]
 施工箇所 工法 新設防水層の種類 仕上塗料

8 断気設置
 ※主材料製造所が指定する製品 () [3.3.3] [3.4.3] [3.5.3]

9 ルーフドレン
 材質 ※改修仕様 表3.8.1による () 明示による [3.8.2] [表3.8.1]

10 改修用ドレン
 ・設ける (POAS, POASI, POD, PODI, POS, POSI, POX工法の場合) [3.2.5]

11 シーリング
 シーリング改修工法の種類 [3.1.4] [表3.1.2]
 ・シーリング充填工法 [3.7.4]
 ○シーリング再充填工法 [3.7.6]
 ・編組シーリング再充填工法 [3.7.6]
 ・ブリッジ工法 [3.7.7]
 ・ボンドブレイカー張り
 ・エッジング材張り

接着性試験
 ・接着試験
 ・引張試験(部位) () [3.7.8]
 ・2面試験とする範囲
 ※「金属と金属」及び「金属とガラス」 ()

12 とい
 表3.8.1 [3.8.2]
 種別 材質 仕様 施工箇所 備考

13 アルミニウム製生木
 部材の種類 [3.9.2] [表3.9.1]
 ・押出し250形 ()
 ・押出し300形 ()
 ・押出し350形 ()
 ・折り曲げ形(本体幅(mm))、板厚(mm) ※2・()
 表面処理 [3.9.2] [表3.5.2.2]
 表面処理の種類 ※改修仕様 表5.2.2.2による ()
 生木の下部処理 [3.9.3]
 ・行う ()
 ・行わない ()
 行う場合の工法 ※明示による ()

14 防水施工履歴
 ※適用する () 適用しない ()
 ※表示内容は監督員と協議による

2 外装改修工事

1 凸凹部改修工法
 ・コンクリート打直し仕上げ
 ・モルタル塗り仕上げ
 ・タイル張り仕上げ

2 欠損部改修工法
 ・コンクリート打直し仕上げ
 ・モルタル塗り仕上げ
 ・タイル張り仕上げ

3 浮き部改修工法
 ・モルタル塗り仕上げ
 ・タイル張り仕上げ

4 モルタル塗替え
 既設塗膜防水表面の仕上げ撤去(L4X工法)
 ・除去する ()
 ・ () ※高圧水洗浄

5 タイル張り
 タイルの種類 [4.2.2]
 施工箇所 形状・寸法 取付方法 区分 色 再塗装 備考

6 下地処理
 既存塗膜劣化部の除去、下地処理の工法 [4.6.3]
 種別 仕様 処理範囲 備考

7 仕上材仕上げ
 ・仕上材における防火材料の指定 [4.2.2]

8 覆付け仕上材
 呼び名 仕上げの形状 工法 備考 [4.1.5] [4.2.2] [表4.2.4]

9 厚付け仕上材
 呼び名 仕上げの形状 工法 備考 [4.1.5] [4.2.2] [表4.2.4]

10 平置き仕上材
 呼び名 仕上げの形状 工法 備考 [4.1.5] [4.2.2] [表4.2.4~6]

11 可とう形改修仕上材
 呼び名 仕上げの形状 工法 備考 [4.1.5] [4.2.2] [表4.2.4~6]

3 建築改修工事

1 改修工法
 ・かぶせ工法
 ・置換工法
 ・明示による [5.1.3]
 新設に鋼骨を設ける場合、鋼骨部分の開口の開け方及び周囲の補修工法並びにその範囲は、図示による

2 防火戸
 ・適用する () 明示による () 適用しない () [5.1.4]

3 アルミニウム製建具
 種別 仕様 備考 [5.2.2~4] [表5.2.1~2]
 ・普通サッシ
 ・A型
 ・B型
 ・C型
 ・防音サッシ
 ・遮音性の等級 ()
 ・断熱サッシ
 ・断熱性の等級 ()

4 樹脂製建具
 種別 仕様 備考 [5.3.2~4] [表5.3.1~3]
 ・普通サッシ
 ・A型
 ・B型
 ・C型
 ・防音サッシ
 ・遮音性の等級 ()
 ・断熱サッシ
 ・断熱性の等級 ()

5 網戸等
 種別 仕様 備考 [5.2.3]
 ・防虫網
 ・合成繊維製
 ・合成繊維入り合成繊維製
 ・ステンレス(SUS304)製
 ・防鳥網
 ・ステンレス(SUS304)製
 ※外面網約の可動式

6 鋼製建具
 種別 仕様 備考 [5.4.2~4] [表5.4.1~2]
 ・標準型建具
 ・A-3
 ・S-4
 ・S-5
 ・S-6
 ・S-7

7 鋼製鉄骨建具
 種別 仕様 備考 [5.5.2~4] [表5.5.1]
 ・標準型建具
 ・A-3
 ・S-4
 ・S-5
 ・S-6
 ・S-7

8 ステンレス建具
 鋼板(屋外) ※ SUS304
 (屋内) ※ SUS304
 表面の仕上げ ※ HL仕上げ
 ※ 普通面仕上げ
 ※ 角出し面仕上げ(輪縁あり)

9 木製建具
 地味材の含水率 ・ A種 ※ B種 C種 (欄仕16.7.2) (欄仕表16.7.1)
 フラッシュ材 (欄仕16.7.2~4) (欄仕表16.7.5~7)
 塗装部の合板の種類 備考
 ※普通合板 表面の材質
 ・生地、透明塗料塗り (※ラワン程度) ()
 ・不透明塗料塗り (※なし程度) ()
 表面の処理
 ・接着の程度 (・1種・2種) ()
 ・天然木 接着の程度 (・1種・2種) ()
 ・化粧合板 化粧の方法 (・オーバーレイ) ()
 ・化粧合板 表面の処理 (・1種・2種) ()
 表面の厚さ ※欄仕 表16.7.6による ()

10 建具用金物
 ・マスターキー
 ・製作する () 新製 () 既存に合わせる () 製作しない () [5.7.2~4] [表5.7.1~2]
 ・鋼製
 鋼製建具とし、監督員による
 ※その他の金物 ※明示による

11 重量シャッター
 種類 シャッターケース 耐風圧性能 開閉形式 備考 [5.10.2~4]
 ・管理用シャッター
 ・防火シャッター(外部用)
 ・防火シャッター(内部用)
 ・防音シャッター
 ・防音シャッター(電動式の場合の電圧)
 ※ 三相 200V 0.75kW以下(過電流保護装置付) ()
 工事範囲 一次側設置は別途工事とし、開閉機構以外の二次側設置は本工事を含む
 スラスト及びシャッターケース用鋼板の種類
 ・ JIS G 3302
 ・ JIS G 3312
 ただし、めっきの付着量はZ12又はP12とする

12 軽量シャッター
 開閉形式 シャッターケース 耐風圧性能 スラスト 備考 [5.11.2~4]
 ・手動式
 ・上部電動式(手動併用)
 ・手動併用)
 ・電動式(電動式の場合の電圧)
 ※ 三相 100V (過電流保護装置付) ()
 工事範囲 一次側設置は別途工事とし、開閉機構以外の二次側設置は本工事を含む
 電動式の場合は、危荷防止機構及び降荷物感知装置(自動閉鎖型)を設けるものとする

3 内装改修工事

13 オーバーヘッドドア [6.12.2~4]

セクション材料	耐風圧性能	開閉方式	取付形式	ガイドレールの材質
※ スチールタイプ ・ アルミニウムタイプ ・ ファイバーグラスタイプ	・ 50 ・ 76 ・ 100 ・ 125	・ バランス式 ・ チューブ式 ・ 電動式	・ スタンダード形 ・ ローヘッド形 ・ ハイリフト形 ・ パーツカル形	・ ステンレス鋼板 (SUS304) ※ 滑車駆動 めっき鋼板

電動式の場合は、降音効果測定値を収めるものとする

16 ガラス [6.13.2]

・ フロート板ガラス 厚さは、図示による
・ 電板ガラス 厚さ及び品種は、図示による
・ 網入板ガラス 厚さ及び品種は、図示による
・ 網入板ガラス 厚さ及び品種は、図示による
・ 合わせガラス 材料、厚さの組合せ、合前層名及び特性による種類は、図示による
・ 強化ガラス 材料となる名称、呼び及び特性による種類は、図示による
・ 併接度ガラス 材料状ガラスの種類及び厚さによる種類は、図示による

※ 熱線吸収ガラス [6.13.2]

種類	厚さ(mm)	性能	色調
※ 熱線吸収フロート板ガラス	・ ()	・ 1種 ・ 2種	・ ブルー ・ グリーン ・ グレー ・ ブロンズ

※ 複層ガラス [6.13.2]

種類	性能	断熱性、日射熱減へい性	色調
※ 断熱複層ガラス	・ 1種、U1 ・ 2種、U2	・ 3種、U3-1 ・ 3種、U3-2	
※ 日射熱減へい複層ガラス	・ 4種、B4	・ 5種、B5	

※ 熱線反射ガラス [6.13.2~4]

種類	厚さ(mm)	日射熱減へい性能、耐火性能、防曇面	反射面	色調
・ フロート板ガラス	・ 6	・ 1種、A面 ・ 2種、A面	・ 室内面 ・ 外面	・ ブルー ・ グレー ・ シルバー
※ 熱線吸収フロート板ガラス	・ 10 ・ 12	・ 2種、B面 ・ 3種、B面		・ ()

※ 平面強化ガラス

※ 熱線反射

ガラス種目の寸法等 図示による 改修仕様 図6.13.1による [6.13.3]

17 ガラス留め材 [6.13.2]

留め材の種類	材質
アルミニウム系	※ シーリング材(SR-1)
鋼製、ステンレス鋼	※ シーリング材(SR-1)

18 ガラスブロック積み [6.13.5]

IS A 5212 による	表面形状	寸法	厚さ	色調	防火規定	備考
				・ クリア ・ カウー	・ 乳白 ・ なし ・ 防火設備	表中に記載のない事項は、図示による

4 内装改修工事

6 パーティクルボード [6.5.2]

施工箇所	表裏面の状態による区分	山げ端と山げ区分	接着剤による区分	難燃性による区分	厚さ	備考
------	-------------	----------	----------	----------	----	----

7 木材保形剤 [6.6.5]

木材保形剤(木材の防湿・防蟻処理)は、非有機リン系とする

※ 種類
・ 品質

8 軽鋼鉄骨天井下地 [6.6.2]

軽鋼鉄等の種類
屋内(※ 19形 ・ 25形) 屋外(※ 19形 ※ 25形)

9 軽鋼鉄骨梁下地 [6.7.2~3]

軽鋼鉄等の種類
スタッド、フナーの種類の
・ 改修仕様表6.7.1のスタッドの高さによる区分に応じた種類

10 ビニル床シート [6.8.2~3]

種類	JIS記号	色調	特殊性能	厚さ	工法
・ 発泡層のないもの	※ FS (複層ビニル床シート)	・ 無地 ・ モザイク柄	・ 帯電防止 ・ 耐動揺衝撃 ・ 防汚性	※ 2.0	※ 熱溶接 ・ 突付け
・ 発泡層のあるもの		・ 無地 ・ 柄物	・ 帯電防止 ・ 防汚性 ・ 耐動揺衝撃 ・ 耐薬品性		

11 ビニル床タイル [6.8.2~3]

JIS記号	色調	寸法	特殊性能	厚さ
・ FT (複層ビニル床タイル)	・ 無地 ・ 柄物	※ 300角 ・ 450角	・ 帯電防止 ・ 防汚性	※ 2.0 ・ 2.5 ・ 3.0
・ KT (ノンジョイントビニル床タイル)	・ 無地 ・ 柄物	・ 300角 ・ 450角	・ 帯電防止 ・ 防汚性	・ 2.0 ・ 3.0
・ FOA (複層ビニル床タイル)	・ 無地 ・ 柄物	・ 300角 ・ 450角	・ 帯電防止 ・ 防汚性	・ ()

12 ビニル幅木 [6.8.2]

厚さ	高さ
※ 2.0	※ 80 ・ 75 ・ 100

13 カーペット敷き [6.9.2~3] [表6.9.2]

寸法	総厚さ	色調	備考
・ 500角	・ 6.5	※ 無地 ・ 柄物	※ 帯電防止及び防汚加工品

敷き方
平巻 ※ 市松敷き
階敷部分 ※ 市松敷き
取付け用付属品は、監督員との協議による

14 合成樹脂塗床 [6.10.2~3] [表6.10.1~2] [表6.10.4~7]

施工箇所	種類	工法	仕上げの種類
	・ 弾性エポキシ樹脂		・ 平滑仕上げ ・ 防汚仕上げ ・ つまみ押し上げ
	・ エポキシ樹脂系塗床		・ 滑り止め仕上げ ・ 防汚仕上げ

15 フローリング張り [6.11.2~6] [表6.11.1] [表6.11.3] [6.11.5]

種類	工法	仕様	厚さ	大きさ	仕上げ
・ フローリングボード	・ 釘留め工法 (壁大型) ・ 釘留め工法 (重埋り) ・ 接着工法	・ なし ・ なし	・ 15 ・ 12以上	板幅75 長さ500以上 板幅75 長さ300以上	・ 塗薬品 ・ 塗薬品
・ フローリングブロック	・ モルタル埋込み工法	・ なし	・ 15	板幅75 長さ300以上	・ 塗薬品 ・ 塗薬品
・ モザイクパーケット	・ 接着工法	・ ()	・ ()	・ ()	・ 塗薬品 ・ 塗薬品

接着工法の場合の接着剤 ・ 合成樹脂接着シート

4 内装改修工事

16 タイル張り [6.16.2]

特種調査日地の寸法
※ 改修仕様 3.7.3による 図示による

タイルの種類 [6.16.3]

施工箇所	形状・寸法	吸水率による区分	うらみすり	取柄	色	材質	備考
		1類 2類 3類	施す 施さず	有 無	種別	特注	強化タイル

既設タイルの取柄 ・ 行方 ・ 行わない 見本施き ・ 行方 ・ 行わない

※ 改修仕様 表6.16.4による () [6.16.3] [表6.16.4]

※ 改修仕様 表6.16.4による () [6.16.3] [表6.16.4]

内装壁タイル接着剤の種類 [6.16.4] [表6.16.6]

・ 有機接着剤(タイプI) 施工箇所 (浴室、湯沸室)
・ 有機接着剤(タイプII) 施工箇所 (便所、湯沸室)

17 セルフレベリング材 [6.17.2]

種類 (・ セッコウ系) ・ セメント系 [6.17.2]

18 土仕上材仕上げ [6.17.2] (仕様表6.1.1)

呼び名	仕上げの形状	工法	備考
・ 内装接着剤付	・ 仕上げの形状	吹付け	
・ 内装接着剤付	・ 仕上げの形状	吹付け	
・ 内装接着剤付	・ 仕上げの形状	吹付け	

19 フリーアクセスフロア (仕様表20.2.2)

寸法(mm)	高さ(mm)	耐圧性能	所定荷重(N)	表面仕上げ材	底パネルの材質	構造材の材質	取付けの材質	取付けの寸法	取付けの位置	取付けの形状	取付けの工法	取付けの備考
※ 450角以上600角以下	※ 100	※ 1.0G	※ 5000	※ タイルカーペット ・ 帯電防止系タイル	※ アルミ合金ダイカスト鋼、スチール鋼又は複合材等	※ アルミ合金鋼、鋼製 (仕上げ)	※ アルミ合金鋼、鋼製 (仕上げ)	※ 20×30	※ パネル1枚につき、40mm×80mm程度の開口1箇所以上	・ なし ・ あり (形式及び施工箇所等は、図示による)	吹付け	

20 可動間仕切り (仕様表20.2.3)

構造形式	構成材の種類	総厚さ(mm)	遮音性 (dB)
・ スタッブ(内蔵)	・ スタッブ	※ 30以上	・ 0
・ スタッブ(壁出)	・ スタッブ	※ 30以上	・ 12
・ パネル式	・ パネル	※ 60以上	・ 20
・ スタッブパネル式	・ スタッブ	※ 60以上	・ 28

21 移動間仕切り (仕様表20.2.4)

操作方法	仕組構造	総厚さ(mm)	表面仕上げ材	遮音性 (dB/500Hz)
・ 手動式 ・ 電動式 ・ 電動式	・ プッシュ式 ・ ハンドル式	※ 60程度 ・ 100程度	・ 鋼板 ・ 鋼板	・ 36未満 ・ 36以上

22 トイレブース (仕様表20.2.5)

表面材の種類	脚部の形状	形状	材質
※ マグネシウム系樹脂系化粧板 ・ ポリエステル樹脂系化粧板	・ 脚木タイプ ・ R	・ 直立式 ・ R	・ アルミニウム系 ※ ステンレス鋼 ・ 表面材と同等

23 視覚障がい者用床タイル (仕様表20.2.6)

種類	寸法(mm)	厚さ(mm)
・ 強化ビニル系 ・ 樹脂系 ・ レンズコンクリート系	・ 300角	・ 7.0
・ 樹脂系 ・ レンズコンクリート系	・ 300角	・ 7.0

24 障除き止め (仕様表20.2.6)

種類	幅(mm)	取付工法
・ ステンレス鋼(SUS304)	※ 35	※ 接着工法

25 床目地線 (仕様表20.2.7)

床仕上げの異なる箇所には目地線を入れる。

※ ステンレス鋼 □型 (幅40程度 厚1.6)
・ ステンレス鋼 5×12 ・ 黄銅鋼 6×12

26 障除きすり (仕様表20.2.12)

材質	表面仕上げ	厚さ(mm)	備考
・ タタキ ・ ステンレススチール ・ 鋼製パイプ ・ ビニル製ハンドル	・ クリアフッカー ・ FFL ・ EP-G ・ SOP	・ 35 ・ 45 ・ ()	・ 1段手すり ・ 2段手すり ・ 滑り止め防止共

27 ブラインド [2.3.1] [6.1.6]

形式	構造	取付方式	取付位置
・ 再使用する ・ 新設する	※ 横開 ・ 縦開	※ コード式 ・ 操作棒式	※ 2本取付コード方式

4 内装改修工事

1 改修範囲 [6.1.3]

既存間仕切り壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井、壁、床の改修範囲 ※ 図示による

天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲 ※ 図示による

天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修 ※ 図示による

2 既存床の撤去及び下地補修 [6.2.2]

ビニル床シート等の撤去
※ 仕上材のみ(接着剤とも) ・ 下地モルタルとも (・ 図示による ・ 除去範囲全て)

合成樹脂塗床材の撤去工法 [6.2.2]

・ 機械的除去工法
・ 目撃し工法
改修後の床面の清掃範囲 ・ 図示による

3 既存壁の撤去及び下地補修 [6.3.2]

間仕切り壁撤去に伴う他の構造体の補修
・ 改修仕様 4.4.9によるモルタル塗り

4 接着剤 [6.5.1] [表6.5.1]

ホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ (帯電防止ビニル床タイル(置架タイプ)の接着剤は、粘着はく離形とし、製造所の指定する製品とする)

5 木下地等 [6.5.5]

表面仕上げの厚度 ・ C種
防蟻処理 ・ 行方 (適用範囲) ・ 行わない

4	内装改修工事	28 カーテン	<ul style="list-style-type: none"> 再使用する [2.3.1] [6.1.6] 新設する (20.2.14) (※20.2.1) <table border="1"> <thead> <tr> <th>形式</th> <th>開閉操作</th> <th>ひだの種類</th> <th>その他の種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>シングル</td> <td>※ 手引き</td> <td>・ フランスひだ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ダブル</td> <td>・ ひも引き</td> <td>・ 縞ひだ、つまひだ</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 電動</td> <td>・ プレーンひだ、片ひだ</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	形式	開閉操作	ひだの種類	その他の種類	シングル	※ 手引き	・ フランスひだ		ダブル	・ ひも引き	・ 縞ひだ、つまひだ			・ 電動	・ プレーンひだ、片ひだ		7	建築関係 (R7.1版) 建築改修工事	1 石綿含有吹付け材の処理	<p>※ 福島県吹付けアスベスト改修工事共通仕様書による。</p> <p>よりおし工事に先立ち、石綿含有吹付け材の除去工事を行う。 [9.1.1]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>処理工法</th> <th>施工箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※ 除去処理</td> <td></td> </tr> <tr> <td>※ 封じ込め処理</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>建築物などの保全技術・技術審査証明事業により認められた業者及び工法とする。</p> <p>分析による石綿含有調査 ※ 行う ・行わない</p> <p>※ 測定点 (図示による) ※ 監督員との協議による</p> <p>※ プラスチック2重膜による封鎖処理 [9.1.3(2) (4)]</p> <p>()</p> <p>石綿含有建材の取り扱いについては、石綿障害予防規則 (平成17年2月24日厚生労働省令21号) を遵守すること。</p>	処理工法	施工箇所	※ 除去処理		※ 封じ込め処理		<table border="1"> <thead> <tr> <th>石綿含有成形板の種類等</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 化粧せっこうボード</td> <td>・ 9.6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ ビニル系タイル</td> <td>・ 2.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ スレート屋根</td> <td>・ 5.0</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	石綿含有成形板の種類等	厚さ(mm)	備考	・ 化粧せっこうボード	・ 9.6		・ ビニル系タイル	・ 2.0		・ スレート屋根	・ 5.0	
		形式	開閉操作	ひだの種類	その他の種類																																					
		シングル	※ 手引き	・ フランスひだ																																						
		ダブル	・ ひも引き	・ 縞ひだ、つまひだ																																						
	・ 電動	・ プレーンひだ、片ひだ																																								
処理工法	施工箇所																																									
※ 除去処理																																										
※ 封じ込め処理																																										
石綿含有成形板の種類等	厚さ(mm)	備考																																								
・ 化粧せっこうボード	・ 9.6																																									
・ ビニル系タイル	・ 2.0																																									
・ スレート屋根	・ 5.0																																									
2 石綿含有成形板の処理等	<p>石綿含有成形板の種類等 [9.1.5]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 化粧せっこうボード</td> <td>・ 9.6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ ビニル系タイル</td> <td>・ 2.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ スレート屋根</td> <td>・ 5.0</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	種類	厚さ(mm)	備考	・ 化粧せっこうボード	・ 9.6		・ ビニル系タイル	・ 2.0		・ スレート屋根	・ 5.0																														
種類	厚さ(mm)	備考																																								
・ 化粧せっこうボード	・ 9.6																																									
・ ビニル系タイル	・ 2.0																																									
・ スレート屋根	・ 5.0																																									
3 特別管理産業廃棄物管理責任者	<p>石綿含有建材の除去工事にあたっては、元請けとして特別管理産業廃棄物管理責任者を配置するとともに石綿予防規則関係法令に準じ、適切に施工すること。ただし、石綿含有成形板の処理工事を除く。</p> <p>特別管理産業廃棄物責任者 廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第8項に基づく配置技術者 なお、主任技術者・監理技術者であることを要しない。</p>																																									
4 断熱材	<p>外断熱及び断熱材打込み工法 [9.3.2] [9.5.2]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>施工箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 押出成形スチレンフォーム</td> <td>・ 保溫板 (2種b)</td> <td>・ 25</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 保溫板 (3種b)</td> <td>・ 25</td> </tr> <tr> <td>・ 硬質ウレタンフォーム</td> <td>・</td> <td>・ 壁面部分</td> </tr> </tbody> </table> <p>既存外壁の処理 [9.3.3]</p> <p>下地面の処理 ・ 行う</p> <p>下地面欠損部の改修工法 ()</p> <p>通気層 ・ 有 (厚さ) ・ 無</p> <p>断熱材埋め戻し工法 [9.5.3]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>施工箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ A種1</td> <td>・ 25</td> <td>※ 窓廻り等の断熱材補修部分、ルーフトレンドレンの取除下等、</td> </tr> <tr> <td>・ A種2</td> <td>・</td> <td>部分的に埋戻りしななければならない箇所</td> </tr> <tr> <td>・ A種3</td> <td>・</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ B種1</td> <td>・</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ B種2</td> <td>・</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	種別	厚さ(mm)	施工箇所	・ 押出成形スチレンフォーム	・ 保溫板 (2種b)	・ 25		・ 保溫板 (3種b)	・ 25	・ 硬質ウレタンフォーム	・	・ 壁面部分	種別	厚さ(mm)	施工箇所	・ A種1	・ 25	※ 窓廻り等の断熱材補修部分、ルーフトレンドレンの取除下等、	・ A種2	・	部分的に埋戻りしななければならない箇所	・ A種3	・		・ B種1	・		・ B種2	・												
種別	厚さ(mm)	施工箇所																																								
・ 押出成形スチレンフォーム	・ 保溫板 (2種b)	・ 25																																								
	・ 保溫板 (3種b)	・ 25																																								
・ 硬質ウレタンフォーム	・	・ 壁面部分																																								
種別	厚さ(mm)	施工箇所																																								
・ A種1	・ 25	※ 窓廻り等の断熱材補修部分、ルーフトレンドレンの取除下等、																																								
・ A種2	・	部分的に埋戻りしななければならない箇所																																								
・ A種3	・																																									
・ B種1	・																																									
・ B種2	・																																									

5	設備改修工事	1 材料	ホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ () [7.1.3] 防火材料 ※ 壁内の壁、天井の塗装仕上げ材は防火材料とし、建築基準法に基づく基材同等の認定表示のあるものとする ・ 次の箇所を除き防火材料とする (箇所:)	6	建築改修工事	1 (一般事項) 適用範囲	工事内容 [8.1.1] - ・ 現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事 - ・ 鉄骨プレースの設置工事 - ・ 柱補強工事 (荷重上乗せ工法又は排液間隔アップ等工法) - ・ 柱補強工事 (鋼筋巻き工法又は帯板巻き付け工法) - ・ 柱補強工事 (連続鉄線補強工法) - ・ 耐震スリット新設工法 - ・ 免震改修・耐震改修工事 工事種別 [8.1.1] [8.1.2] - ・ 施工調査 (施工計画調査、施工数量調査、調査のための破壊部分の補修) - ・ 除去工事 (設備機器配管及び仕上げの取り壊し、撤去 (下地の一部又は全てを含む)、構造物のはつち) - ・ 鉄筋工事 - ・ あと施工アンカー工事 - ・ コンクリート工事 - ・ 鉄骨工事 - ・ グラウト工事 - ・ 連続鉄線補強工事 - ・ スリット新設工事 - ・ 免震改修・耐震改修工事								
2 下地調整	図示による 鉄鋼面RB種、RB種	3 施工数量調査	(1.2.2) (1.2.4) (1.3.1)	項目	内容	記録事項等		---------	----	-------		・ 図示による			
3 錆止め塗料塗り	図示による 鉄鋼面RB種、RB種	4 各工事	各工事については、別紙による。												
4 塗装	図示による 断熱性塗料塗り (DP)	5 圧縮強度試験	公的機関でコンクリートの材齢28日圧縮強度試験を行う建築物・その部位等	建築物名	部位		------	-----		※ 躯体	()				
6	共通事項	1 (一般事項) 適用範囲	工事内容 [8.1.1] - ・ 現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事 - ・ 鉄骨プレースの設置工事 - ・ 柱補強工事 (荷重上乗せ工法又は排液間隔アップ等工法) - ・ 柱補強工事 (鋼筋巻き工法又は帯板巻き付け工法) - ・ 柱補強工事 (連続鉄線補強工法) - ・ 耐震スリット新設工法 - ・ 免震改修・耐震改修工事 工事種別 [8.1.1] [8.1.2] - ・ 施工調査 (施工計画調査、施工数量調査、調査のための破壊部分の補修) - ・ 除去工事 (設備機器配管及び仕上げの取り壊し、撤去 (下地の一部又は全てを含む)、構造物のはつち) - ・ 鉄筋工事 - ・ あと施工アンカー工事 - ・ コンクリート工事 - ・ 鉄骨工事 - ・ グラウト工事 - ・ 連続鉄線補強工事 - ・ スリット新設工事 - ・ 免震改修・耐震改修工事	7	建築改修工事	1 (一般事項) 適用範囲	(1) 貫通、はつち又は穿孔する箇所は、事前に金属探知機による鉄筋・埋設物 (電線類・配管類) の調査を行うこと。 (2) 金属探知機による調査で判断できなかった場合は、X線内部探査 (撮影) 等による調査について監督員と協議すること。 (3) 金属探知機及びX線内部探査 (撮影) 等による調査が困難な場合は、休日等に関係設備を停止し不測の事態を想定した上での施工など、対応方法について監督員と協議の上、建設管理者に報告すること。								
3 施工数量調査	(1.2.2) (1.2.4) (1.3.1)	項目	内容	記録事項等		---------	----	-------		・ 図示による					

福島地方水道用水供給企業団
電話 024-541-4100 FAX 024-541-4180
福島県福島市坂町字沼ノ上1番地の1

建築士事務所名

工事名称

活性炭注入施設ほか塗装修繕工事

設計年: 令和8年4月

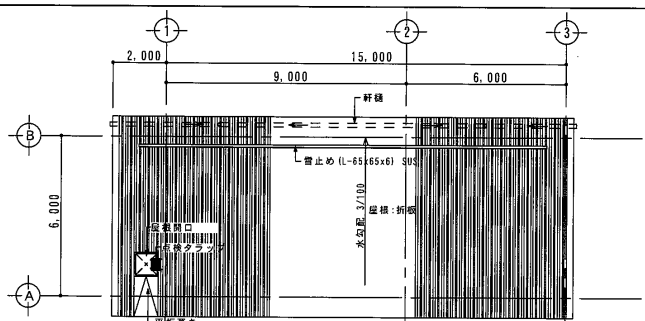
設計者氏名

印

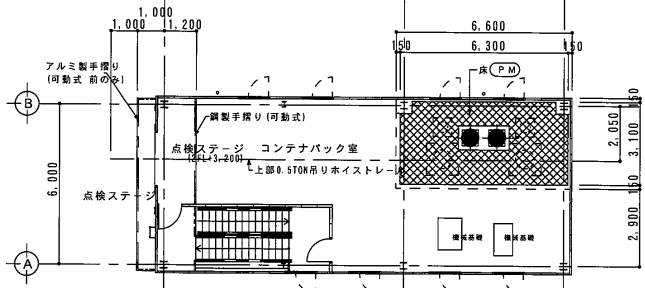
図面番号

建築関係工事特記仕様書

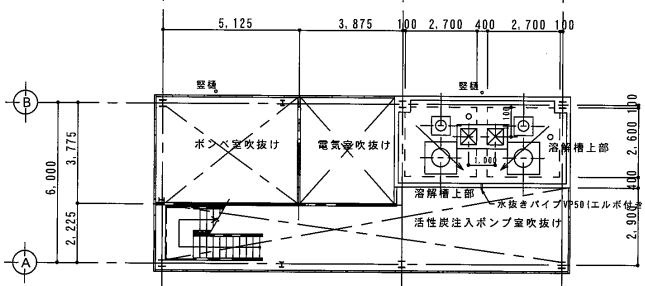
<p>11</p> <p>現場業務改修(快道トイレの設置)</p>	<p>1 内容</p> <p>① 受注者は、現場業務改修の一環として、工事場所毎に設置するトイレのうち男女別に1基ずつ以下の(1)～(11)の仕様をすべて満たす快道トイレを設置することとする。ただし、快道トイレの設置が困難な場合は監督員と協議する。(12)～(17)の仕様については、満たしていれば快道に出来ると思われる項目であり、必須ではない。</p> <p>【快道トイレに求める標準仕様(全項目必須)】</p> <p>(1) 洋式(洋風)便座 (2) 水洗及び簡易水洗機能(し尿処理装置含む) (3) 臭い定減防止機能 (4) 臭いに聞こえない騒音機能 (5) 簡易設備 (6) 衣類掛け等のフック、又は荷物のおける棚(荷重量を5kg以上とする)</p> <p>【付属品として備えるもの(全項目必須)】</p> <p>(7) 現場に男女がいる場合に男女別の明確な表示 (8) 周囲からトイレの入口が直視見えない工夫 (9) サニタリーボックス(女性用トイレに必ず設置) (10) 鏡と手洗器 (11) 便座除菌クワイパー等の衛生用品</p> <p>【推奨する仕様、付属品(任意)】</p> <p>(12) 室内寸法900mm×900mm以上(面積A=0.81m²以上ではない。幅・奥行き各900mm以上) (13) 障害設置(備座を含む) (14) 着替え台 (15) 臭気対策機能の多重化 (16) 室内湿度の調整が可能な設備 (17) 小物置き場等(トイレペーパー予備置き場等)</p> <p>② 受注者は、快道トイレの設置にあたっては、①の内容を満たす参考仕様書(標準仕様、付属品の内訳を明示したもの)を製作し、別掲「標準仕様の詳細」について監督員と協議の上決定し、快道トイレ仕様チェックシート及び資料等(カタログなど)を施工計画書提出に含むこととする。</p> <p>③ 現場事務所等の室内に設置するトイレは適用しない。</p> <p>快道トイレに要する費用については、当初契約時は計上していないが、月額の支出実績がわかる資料により、監督員と協議の上、51,000円/基・月を上限とし、設計変更の対象とする。ただし、運搬費・設置費等は対象外とし、従来品相当額(10,000円/基・月)は差し引くものとする。なお、設計変更数量の上限は、男女別で各1基ずつ合計2基までとする。</p>	<p>13</p> <p>準備期間確保工事</p> <p>1 準備期間確保工事 2 フレックス工事 3 着工後の提出 4 コルナシ登録 5 福島県元請・下請関係適正化指導要綱関係 6 その他</p> <p>14</p> <p>再生資源利用計画</p> <p>1 再生資源利用計画書 2 再生資源利用促進計画書</p>	<p>準備期間確保工事における事務処理要領 この工事は準備期間確保工事であり、受注者は契約締結日から準備期間(〇〇日間)内に着工日を任意に設定できる。なお、契約の締結日までに別紙様式により、着工日(工事の始期)を通知すること。また、契約締結後に、受注者の準備が整った場合は、協議のうえ、工期に係る契約を変更することにより、工事に着手することができるものとする。</p> <p>フレックス工事執行要領 この工事はフレックス工事であり、受注者は発注者が示した工期までの間で、工事の始期及び終期を任意に設定できる。なお、契約の締結日までに別紙様式により、工事の始期及び終期を通知すること。</p> <p>着工後は、着工後速やかに提出すること。</p> <p>受注時の「コルナシ登録」は、着工後に監督員の確認を受け、着工後、速やかに登録機関に登録申請しなければならない。</p> <p>施工体制台帳については、福島県元請・下請関係適正化指導要綱第10に基づき、提出すること。</p> <p>・ 準備期間内は、主任技術者又は監理技術者の配置することを要しない。また、現場に搬入しない資材等の準備を行うことができるが、資材の搬入や仮設物の設置等、工事の着手を行ってはならない。なお、準備期間内に行う準備は受注者の責任により行うものとする。(準備期間確保工事)</p> <p>・ 工事の始期までの準備期間内は、主任技術者又は監理技術者の配置することを要しない。また、現場に搬入しない資材等の準備を行うことができるが、資材の搬入や仮設物の設置等、工事の着手を行ってはならない。なお、着工後準備期間内に行う準備は受注者の責任により行うものとする。(フレックス工事)</p> <p>受注者は、コンクリート、コンクリート及び鉄骨から成る建設資材、木材、アスファルト混合物等を工事現場に搬入する場合には、法令等に基づき、再生資源利用計画書を作成し、施工計画書に含め監督員に申しを提出しなければならない。また、受注者は、法令等に基づき、再生資源利用計画書を工事現場の公表が見やすい場所に掲げなければならない。</p> <p>受注者は、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設廃材または建設廃合資材等を工事現場から搬出する場合には、法令等に基づき、再生資源利用促進計画書を作成し、施工計画書に含め監督員に申しを提出しなければならない。また、受注者は、法令等に基づき、再生資源利用促進計画書を工事現場の公表が見やすい場所に掲げなければならない。</p>																					
<p>12</p> <p>(1)工期・工費等</p> <p>・ 延滞による作業不能日数</p>	<p>本工事は、延滞による作業不能日数を次のとおり見込んでいます。</p> <p>1) 作業不能日数: ●日</p> <p>ii) 上記1)は、環境省が公表する東北地方◎◎※1(福島)地点における WBGT 値(気温、湿度、日射・輻射を考慮した暑さ指標)過去5年分(令和◎年～◎年)について、本工事の工期に対応する期間(行政機関の休日に関する法律(昭和68年法律第91号)に定める行政機関の休日及び夏季休暇(8日)を除く。)において、8時から17時の間にWBGT 値が31以上となった時間を算定し、日数に換算したものを5年分を平均したものを。</p> <p>iii) 気象状況により工期中に発生した延滞による作業不能日数(当該現場における定時の現場作業時間において、環境省が公表する東北地方◎◎(福島)地点における WBGT 値が31以上となり、かつ受注者が実施工事単位で作業を中止し、又は作業を中断した時間を算定し、日数に換算したものを(小数点以下第一位を四捨五入する。))が1)の日数から著しく乖離した場合には、受注者は発注者へ工期の延長変更を協議することができる。</p> <p>※1 下表の観測地点を記入(参考)</p> <table border="1" data-bbox="280 901 604 1013"> <thead> <tr> <th>建設事務所管内</th> <th>観測地点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鳳凰</td> <td>鳳凰</td> </tr> <tr> <td>鳳北</td> <td>鳳北、川口、菅野、二子松</td> </tr> <tr> <td>鳳中</td> <td>松川、黒山、志太、小野新町、若川</td> </tr> <tr> <td>鳳南</td> <td>白河、東白川</td> </tr> <tr> <td>会津若松</td> <td>会津若松</td> </tr> <tr> <td>喜多方</td> <td>松川、喜多方、白河、会津若松、菅野</td> </tr> <tr> <td>鹿角</td> <td>日川、黒山、田代</td> </tr> <tr> <td>相馬</td> <td>相馬、飯沼、津江、川内、灰野</td> </tr> <tr> <td>いわき</td> <td>山田、小名浜</td> </tr> </tbody> </table>	建設事務所管内	観測地点	鳳凰	鳳凰	鳳北	鳳北、川口、菅野、二子松	鳳中	松川、黒山、志太、小野新町、若川	鳳南	白河、東白川	会津若松	会津若松	喜多方	松川、喜多方、白河、会津若松、菅野	鹿角	日川、黒山、田代	相馬	相馬、飯沼、津江、川内、灰野	いわき	山田、小名浜	<p>15</p> <p>1 内容</p>	<p>※総合評価方式(標準型・簡易型)における技術提案書に記載された事項の実施状況の確認について</p> <p>総合評価方式において、受注者が技術提案書に記載した事項の具体的な実施方法を、施工計画書に「総合評価方式における技術提案事項の実施計画」として記載し、提出しなければならない。</p> <p>なお、施工計画書に記載された「総合評価方式における技術提案事項の実施計画」については、実施状況について発注者の確認を受けなければならない。</p> <p>確認の方法については、「土木工事実施仕様書 Ⅱ編 2. 様式 第8号様式(確認書)」を用いることとし、監督員へ提出の上審査を受けることとする。</p> <p>また、技術提案事項の履行が確認できない場合は、工事成績評定において減点とする場合があるとともに、入札参加資格制限措置の対象となる場合がある。</p>	
建設事務所管内	観測地点																							
鳳凰	鳳凰																							
鳳北	鳳北、川口、菅野、二子松																							
鳳中	松川、黒山、志太、小野新町、若川																							
鳳南	白河、東白川																							
会津若松	会津若松																							
喜多方	松川、喜多方、白河、会津若松、菅野																							
鹿角	日川、黒山、田代																							
相馬	相馬、飯沼、津江、川内、灰野																							
いわき	山田、小名浜																							
<p>福島地方水道用水供給企業団 電話 024-541-4100 FAX 024-541-4180 福島県福島市飯坂町字沼ノ上1番地の1</p> <p>設計年: 令和8年4月</p>		<p>建築士事務所名</p> <p>設計者氏名</p>	<p>工事名称</p> <p>図面名称</p>	<p>活性炭注入施設ほか塗装修繕工事</p> <p>建築関係工事特記仕様書</p> <p>図面番号 6/6</p>																				



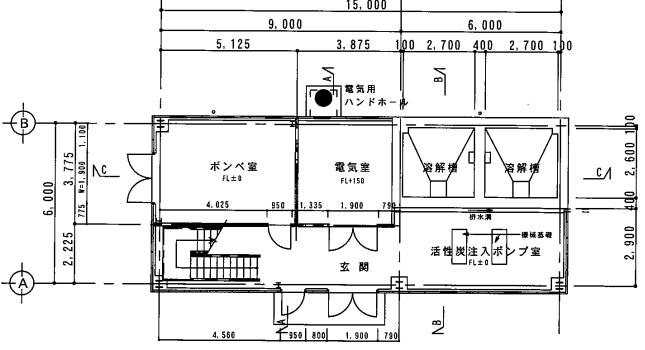
屋根伏図 S=1/100



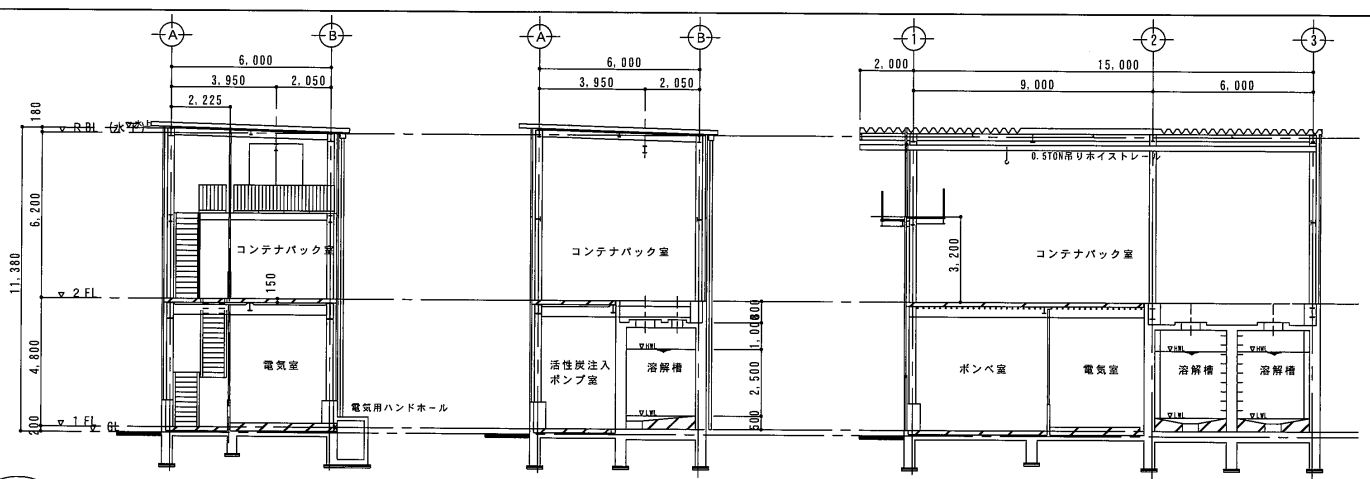
2階平面図 S=1/100



1階+4.000平面図 S=1/100



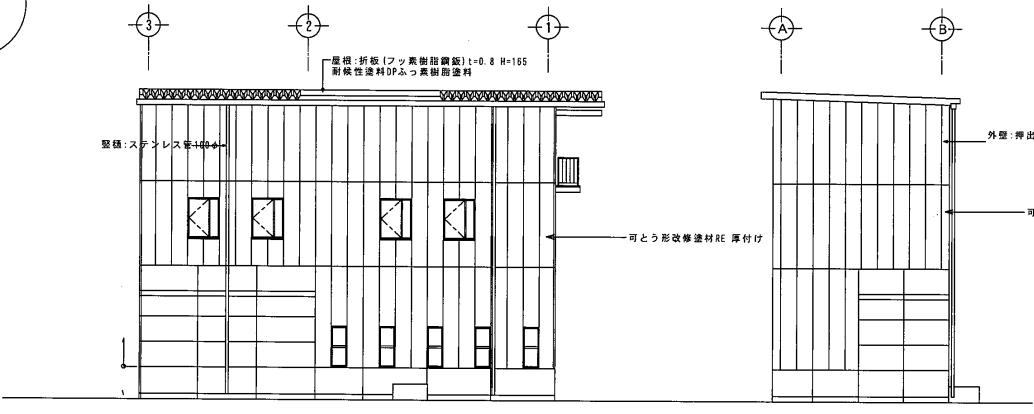
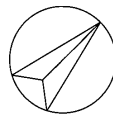
1階平面図 S=1/100



A-A断面図 S=1/100

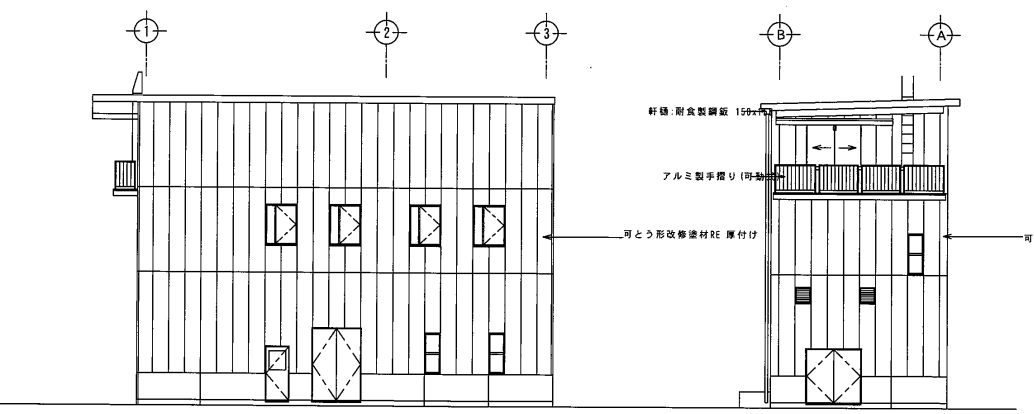
B-B断面図 S=1/100

C-C断面図 S=1/100



北立面図 S=1/100

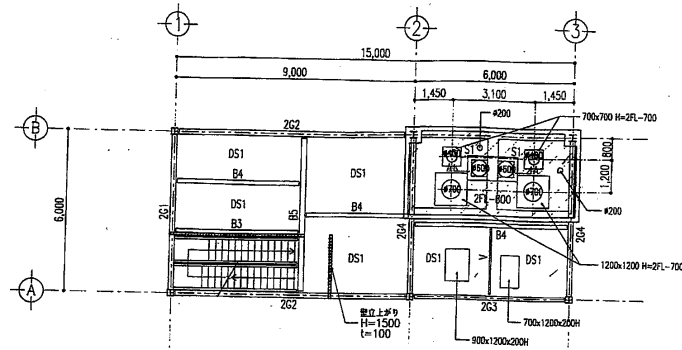
東立面図 S=1/100



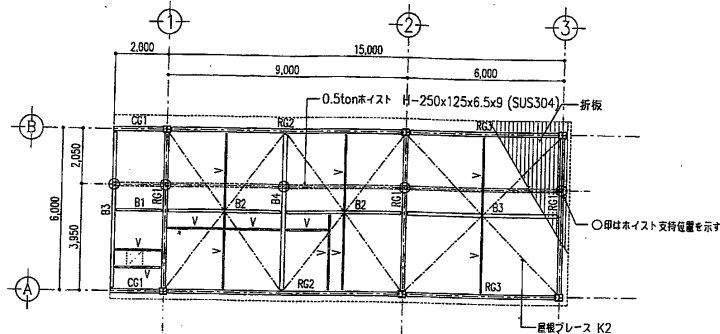
南立面図 S=1/100

西立面図 S=1/100

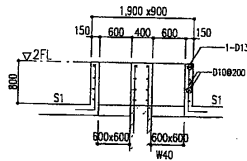
令和 8 年度	
工事名	活性炭注入施設ほか塗装修繕工事
図名	立面図、平面図、断面図、屋根伏図
施工箇所	福島市飯坂町字沼ノ上1番地の1ほか
縮尺	図示 全4葉の内1
作成年月	令和 8 年 4 月
福島地方水道用水供給企業団	



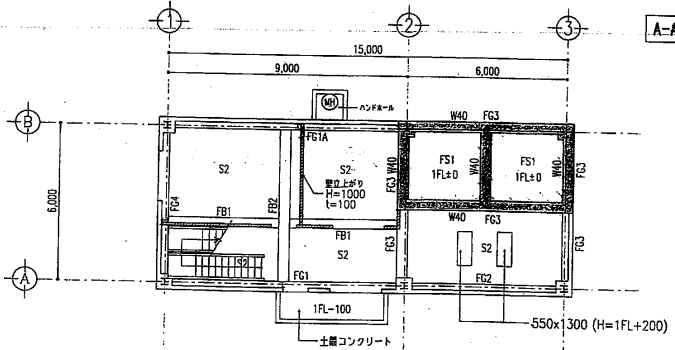
2階伏図 S=1/100



屋根伏図 S=1/100

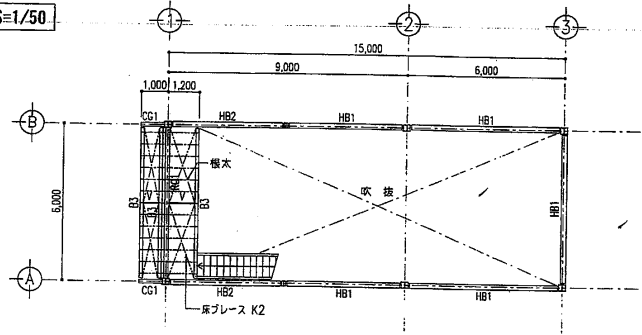


A-A断面配筋図 S=1/50

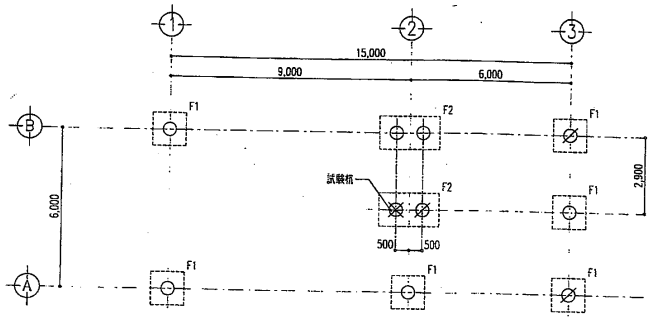


1階伏図 S=1/100

- 特記なき限り
1. 階高は W15とする。
 2. スラブ天面レベルは 1FL-150とする
 3. 地中梁天面レベルは 1FL-400(GL-200)とする



2FL+3.200伏図 S=1/100

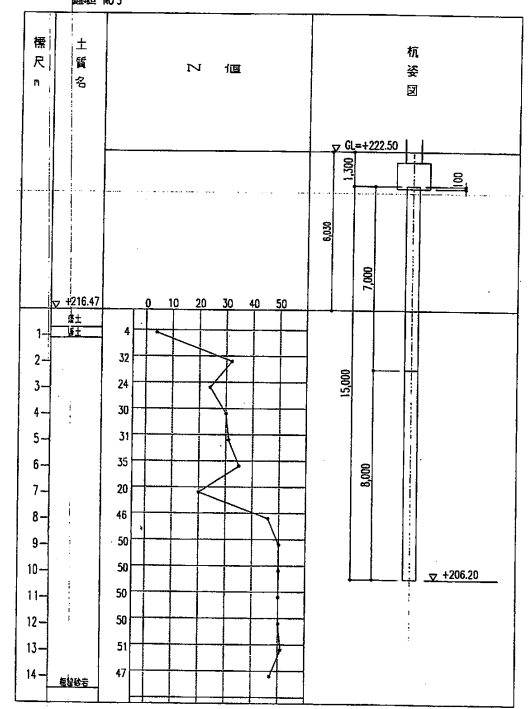


杭基礎伏図 S=1/100

- 特記なき限り
1. 杭種 PHC杭 500φ
- 甲 上杭 B種 (L=7.0m) 下杭 A種 (L=8.0m) 6セット
 - ⊗ 甲 上杭 C種 (L=7.0m) 下杭 A種 (L=8.0m) 4セット

杭	PHC杭	中継ぎ接合工法
杭径	500φ	
杭耐力	980 KN/P (長期)	
杭長さ	15.0m	(上杭 7.0m+下杭 8.0m)
杭本数	10セット	

土質柱状図



令和8年度	
工事名	活性炭注入施設ほか塗装修繕工事
図名	参考図
施工箇所	福島市飯坂町字沼ノ上1番地の1
縮尺	図示 全葉4の内2
作成年月	令和8年4月
福島地方水道用供水供給企業団	

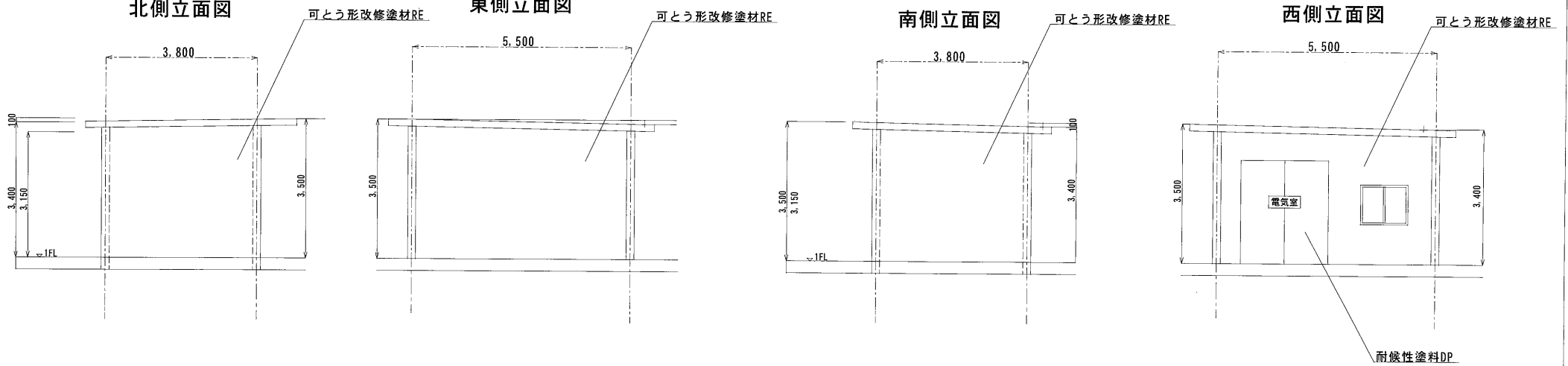
福島南部受水池流量計室 立面図 S=1/50

北側立面図

東側立面図

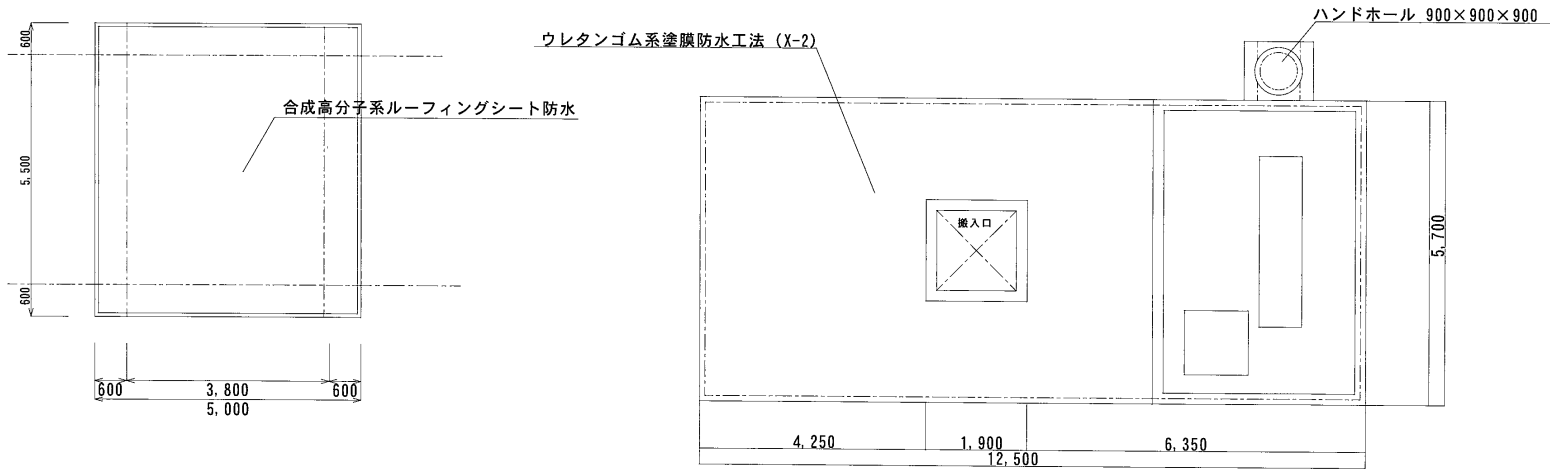
南側立面図

西側立面図



屋根伏図 S=1/50

地上1階 平面図 S=1/50



注記

1. この図面は竣工図をもとにトレースしたものである。
2. 工事および修繕の際には、現地実測の上施工すること。
3. この図面の縮尺はA1サイズでの縮尺である。

(福島南部受水池流量計室：福島市平石字古屋敷1-9)

令和 8 年度		
工事名	活性炭注入施設ほか塗装修繕工事	
図名	立面図、屋根伏図、平面図	
施工箇所	福島市飯坂町字沼ノ上1番地の1ほか	
縮尺	S=1/50	全 4 葉の内 3
作成年月	令和 8 年 4 月	
福島地方水道用水供給企業団		

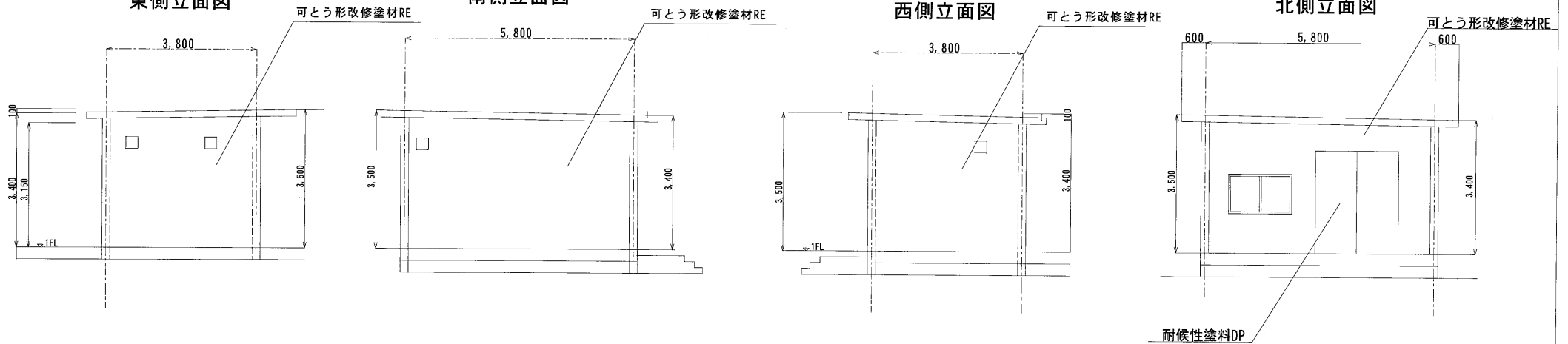
安達受水池流量計室 立面図 S=1/50

東側立面図

南側立面図

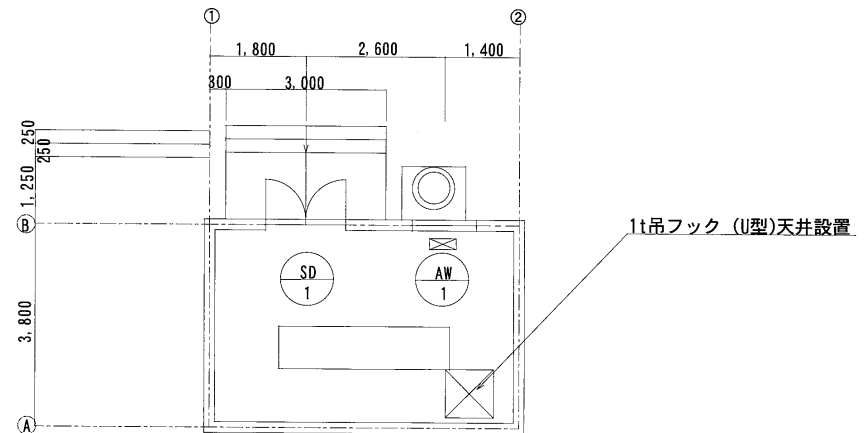
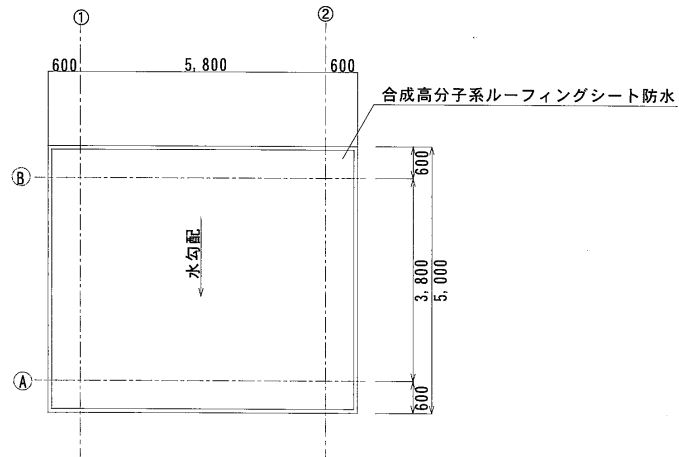
西側立面図

北側立面図



屋根伏図 S=1/50

地上1階 平面図 S=1/50



- 注記
1. この図面は竣工図をもとにトレースしたものである。
 2. 工事および修繕の際には、現地実測の上施工すること。
 3. この図面の縮尺はA1サイズでの縮尺である。

安達受水池流量計室：二本松市浪川字羽黒山57-2	
令和 8 年度	
工事名	活性炭注入施設ほか塗装修繕工事
図名	立面図、屋根伏図、平面図
施工箇所	福島市飯坂町字沼ノ上1番地の1ほか
縮尺	S=1/50 全4葉の内4
作成年月	令和 8 年 4 月
福島地方水道用水供給企業団	

令和8年度

活性炭注入施設ほか塗装修繕工事

数量計算書

【活性炭注入施設】

福島地方水道用水供給企業団

数量総括表

上段:変更

下段:当初

費目・名称・工種・細別	規格・寸法	数量	単位	備考
建築 改修工事				
修繕費		1.0	式	
活性炭注入施設		1.0	式	
準備工		1.0	式	
外壁面調査		1.0	式	
外壁面調査	目視、打診、マーキング 計測、図面記入	423.0	m ²	
仮設工		1.0	式	
足場		1.0	式	
くさび緊結式足場	手摺先行型 幅600mm 3ヶ月 20m未満 昇降設備含む	569.0	掛m ²	
垂直養生	メッシュシート 3ヶ月	569.0	掛m ²	
養生清掃	外壁	46.0	m ²	
部分養生	開口部	35.0	m ²	
塗装修繕工		1.0	式	
外壁改修		1.0	式	
クラック補修	Uカット可とう性Eポ 樹脂充填工法 クラック幅1.0mm超過	42.3	m	
クラック補修	Eポ 樹脂注入(ポンド OGS相当) クラック幅0.3~1.0mm未満	42.3	m	
素地調整	サンダー工法 コンクリート面 RB種	423.0	m ²	
水洗い清掃	高圧ポンプ 10~15 MPa コンクリート面	423.0	m ²	
クラック補修部パターン付	ロー幅5cm 材工共	2.1	m ²	
下地調整(C-1)	塗厚1mm以下 材工共	2.1	m ²	
上塗り	可とう形改修塗材RE ぶっ素水系厚付け 下、中、上塗り(各1回) 材工共	423.0	m ²	
屋外鉄鋼面		1.0	式	
素地調整	鉄鋼面 RB種	213.0	m ²	

数量総括表

上段:変更

下段:当初

費目・名称・工種・細別	規格・寸法	数量	単位	備考
水洗い清掃	高圧ポンプ 10~15 MPa コンクリート面	213.0	㎡	
下塗り	変性エポキシ樹脂プライマー 2回塗 材工共	213.0	㎡	
上塗り(中、上塗り)	耐候性塗料DP同等 ふっ素樹脂塗料 材工共	213.0	㎡	
塗装施工板		1.0	式	
塗装記録板	150×250 アクリルライト 材工共	1.0	枚	
シーリング改修工		1.0	式	
シーリング設置		1.0	式	
打継目地シーリング	ポリウレタン系 PU-2 25×10	38.0	m	
成型セメント板取合シーリング	ポリウレタン系PU-2 15×10	47.0	m	
建具廻りシーリング	ポリウレタン系 PU-2 15×10	9.0	m	
建具廻りシーリング	ポリウレタン系 PU-2 10×10	9.0	m	
建具廻りシーリング	ポリウレタン系 PU-2 10×7	11.0	m	
建具廻りシーリング	ポリウレタン系 PU-2 20×10	13.0	m	
ガラス止めシーリング	シリコン系 10×7	75.0	m	
シーリング撤去		1.0	式	
シーリング撤去	10~20mm程度×7~10mm程度 撤去・集積	202.0	m	
産業廃棄物処理工		1.0	式	
産業廃棄物運搬		1.0	式	
廃プラスチック	2t車 人力 L=27.5km以下 (積算:恵和興業㈱ケイワ・リサイクルセンター福島)	1.0	台	
産業廃棄物処理		1.0	式	
廃プラスチック	中間処分 (積算:恵和興業㈱ケイワ・リサイクルセンター福島)	0.1	㎡	
共通仮設費(積上げ)		1.0	式	
交通誘導員	交通誘導員B	4.0	人	
工事名表示板		1.0	基	

数量計算書

名称	規 格 寸 法	数 量 算 式	単 位	数 量
【公共建築数量積算基準P.1より】				
※1. 端数処理は、四捨五入とする。				
※2. 数量は、小数点以下第1位とする。ただし、100以上の場合は整数とする。				
※3. 現地調査結果に基づき、協議のうえ施工すること				
1. 準備工		N=1式	= 式	1.0
(1)外壁面調査	目視、打診、マーキング、計測、図面記入			
		壁① 壁②		
外壁塗装面		A= 既存資料より 39.60 + 383.00	= m ²	422.60
		合計	= m ²	422.60
		設計数量	= m ²	423.0
2. 仮設工		N=1式	= 式	1.0
(1)足場	手すり先行くさび 緊結式足場600mm	公共建築数量積算基準P.4より外部本足場は外壁面から1.0mとする。		
【活性炭注入施設】	20m未満 3か月			
	東面	(6.00 + 2.00) × 11.38	= 掛m ²	91.04
			= 掛m ²	91.0
	西面	(6.00 + 2.00) × 11.38	= 掛m ²	91.04
			= 掛m ²	91.0
	南面	(15.00 + 2.00) × 11.38	= 掛m ²	193.46
			= 掛m ²	193.0
	北面	(15.00 + 2.00) × 11.38	= 掛m ²	193.46
			= 掛m ²	193.0
			計 = 掛m ²	569.00
			設計数量 = 掛m ²	569.0
(2)災害防止	垂直養生 メツシユシート	公共建築数量積算基準P.4より		
【活性炭注入施設】	3か月	足場面積より 569.00	= 掛m ²	569.00
			設計数量 = 掛m ²	569.0
(3)養生清掃		公共建築数量積算基準P.4より		
【活性炭注入施設】	外壁	足場設置面積 8.00 × 17.00	= m ²	136.00
		本体面積 6.00 × 15.00	= m ²	90.00
		施工面積 136.00 - 90.00	= m ²	46.00
			設計数量 = m ²	46.0

数量計算書

名称	規格寸法	数量算式	単位	数量
3. 塗装修繕工		N=1式 ※現地調査結果に基づき、協議のうえ施工すること	= 式	1.0
外壁				
(1)クラック補修 (1.0mm超過)	Uカット エポキシ樹脂充填工法 10×15mm程度 材工共	外壁面(既存資料より) 想定 422.60 × 10%	= m	42.26
		設計数量	= m	42.3
(2)クラック補修 (クラック幅0.3~1.0mm以下)	ボンドOGS工法相当 エポキシ樹脂注入 幅10mm・厚2mm材工共	外壁面(既存資料より) 想定 422.60 × 10%	= m	42.26
		設計数量	= m	42.3
(3)素地調整	サグ-工法RB種	外壁面(既存資料より) 422.60	= m ²	422.60
		設計数量	= m ²	423.0
(4)水洗い清掃	高圧ホッパ10~15MPa	外壁面(既存資料より) 422.60	= m ²	422.60
		設計数量	= m ²	423.0
(5)クラック補修部パターン付	U-ラ-幅5cm 材工共	クラック補修(Uカット) 42.26 × 0.05	= m ²	2.11
		設計数量	= m ²	2.1
(6)下地調整	下地調整塗材C-1 塗厚1mm以下 材工共	クラック補修部 2.11	= m ²	2.11
		設計数量	= m ²	2.1
(7)上塗り	可とう形改修塗材 RE 厚付け ふっ素水系 下1回中1回 上1回 材工共	外壁面(既存資料より) 422.60	= m ²	422.60
		設計数量	= m ²	423.0
鉄鋼面				
(1)素地調整	サグ-工法RB種	鉄鋼面屋根(既存資料より) 鉄鋼面(SD+鉄骨面) 129.00 + 83.80	= m ²	212.80
		設計数量	= m ²	213.0
(2)水洗い清掃	高圧ホッパ10~15MPa	鉄鋼面屋根(既存資料より) 鉄鋼面(SD+鉄骨面) 129.00 + 83.80	= m ²	212.80
		設計数量	= m ²	213.0
(3)下塗り	変性エポキシ樹脂アラ ン-2回塗り 材工共	鉄鋼面屋根(既存資料より) 鉄鋼面(SD+鉄骨面) 129.00 + 83.80	= m ²	212.80
		設計数量	= m ²	213.0

数量計算書

名称	規格寸法	数量算式	単位	数量
5. 産業廃棄物処理工		N=1式	= 式	1.0
1. 産業廃棄物運搬				
(1) 廃プラスチック				
(1) 打継目地シーリング	ポリウレタン系 PU-2 25×10	38.39 × 0.025 × 0.01	= m ³	0.01
(2) 成型セメント板 取合シーリング	ポリウレタン系 PU-2 15×10	46.67 × 0.015 × 0.01	= m ³	0.01
(3) 建具廻りシーリング	ポリウレタン系 PU-2 15×10	9.36 × 0.015 × 0.01	= m ³	0.00
(4) 建具廻りシーリング	ポリウレタン系 PU-2 10×10	9.30 × 0.01 × 0.01	= m ³	0.00
(5) 建具廻りシーリング	ポリウレタン系 PU-2 10×7	10.92 × 0.01 × 0.007	= m ³	0.00
(6) 建具廻りシーリング	ポリウレタン系 PU-2 20×10	13.40 × 0.02 × 0.01	= m ³	0.00
(7) ガラス止めシーリング	シリコン系 10×7	75.36 × 0.01 × 0.007	= m ³	0.01
			計 = m ³	0.03
		撤去数量	比重	
		0.03 × 0.35t/m ³	= t	0.01
取壊し発生材運搬	2t車 人力 恵和興業(株)イ ワ・リサイクルセンター	0.01 ÷ 2t/台	= 台	0.01
			設計数量 = 台	1.0
2. 産業廃棄物処分費				
(2) 廃プラスチック	恵和興業(株)イ ワ・リサイクルセンター	0.03	= m ³	0.03
			設計数量 = m ³	0.1

令和8年度

活性炭注入施設ほか塗装修繕工事

数量計算書

【福島南部受水池流量計室】

福島地方水道用水供給企業団

数量総括表

上段:変更

下段:当初

費目・名称・工種・細別	規格・寸法	数量	単位	備考
建築 改修工事				
修繕費		1.0	式	
福島南部受水池流量計室		1.0	式	
準備工		1.0	式	
外壁面調査		1.0	式	
外壁面調査	目視、打診、マーキング 計測、図面記入	135.6	m ²	
仮設工		1.0	式	
足場		1.0	式	
くさび緊結式足場	手摺先行型 600mm 1ヶ月 10m未満 昇降設備含む	93.1	掛m ²	
災害防止	垂直養生 メッシュシート 1か月	93.1	掛m ²	
養生清掃	外壁+外部床	67.4	m ²	
開口部養生	部分養生	6.3	m ²	
塗装修繕工		1.0	式	
外壁改修		1.0	式	
クラック補修	Uカット 可とう性エポキシ樹脂	7.3	m	
クラック補修	ボンドOGS工法相当	7.3	m	
素地調整	サンダー工法 コンクリート面 RB種	73.3	m ²	
水洗い清掃	高圧ポンプ 10~15 MPa コンクリート面	73.3	m ²	
クラック補修部パターン付	□-幅5cm 材工共	0.4	m ²	
下地調整(C-1)	塗厚1mm以下 材工共	0.4	m ²	
上塗り	可とう形改修塗材RE ふっ素 厚付け 下、中、上塗り(各1回) 材工共	73.3	m ²	
屋外鉄鋼面		1.0	式	
素地調整	鉄鋼面 RB種	14.0	m ²	

数量総括表

上段:変更

下段:当初

費目・名称・工種・細別	規格・寸法	数量	単位	備考
	高圧ポンプ 10~15 MPa			
水洗い清掃	コンクリート面	14.0	㎡	
	変性EP 杉樹脂プライマー			
下塗り	2回塗 材工共	14.0	㎡	
	耐候性塗料DP同等			
上塗り(中、上塗り)	ふっ素樹脂塗料 材工共	14.0	㎡	
屋外FRP面		1.0	式	
素地調整	鉄鋼面 RB種	4.1	㎡	
	高圧ポンプ 10~15 MPa			
水洗い清掃	コンクリート面	4.1	㎡	
	変性EP 杉樹脂プライマー			
下塗り	2回塗 材工共	4.1	㎡	
	耐候性塗料DP同等			
上塗り(中、上塗り)	ふっ素樹脂塗料 材工共	4.1	㎡	
塗装施工板		1.0	式	
表示板(施工歴標)	150×250 アクリルライト 材工共	1.0	枚	
防水改修工		1.0	式	
外部床防水		1.0	式	
	防水保護コンクリート			
既設防水保護層劣化部撤去	t=30mm程度	6.2	㎡	
素地調整	RB種ケレン・清掃	56.0	㎡	
水洗い清掃	高圧ポンプ 10~15MPa	56.0	m	
	ポリマーセメントペースト			
既設防水保護層撤去部補修	部分補修(t=3cm程度) 材工共	6.2	㎡	
Uカット	既設防水モルタル10×10	22.7	m	
シーリング	10×10 材工共	22.7	m	
ウレタンゴム系塗膜防水工法	X-2 平場 材工共	44.8	㎡	
ウレタンゴム系塗膜防水工法	X-2 立上り 材工共	17.4	㎡	
屋根防水改修		1.0	式	
既存シート防水層撤去	既存ゴムシート、アルミ金物含む	33.5	㎡	
素地調整	RB種ケレン・清掃	33.5	㎡	

数量総括表

上段:変更

下段:当初

費目・名称・工種・細別	規格・寸法	数量	単位	備考
	高圧ポンプ 10~15 MPa			
水洗い清掃	コンクリート面	33.5	㎡	
下地調整	下地調整塗材C-1 材工共	33.5	㎡	
合成高分子系ルーフィングシート防水工法	接着工法S-F2 材工共	33.5	㎡	
アルミ金物取付	シート端部押え金物 材工共	23.4	m	
防水施工板				
	黄銅製 文字含む			
表示板(施工歴標)	150×250 県仕様 材工共	1.0	枚	
シーリング改修工		1.0	式	
シーリング設置		1.0	式	
建具廻り	MS-2(15×10) 材工共	13.4	m	
巾木目地	MS-2(20×15) 材工共	18.6	m	
シート防水押え目地	PU-2(15×10) 材工共	23.4	m	
シーリング撤去		1.0	式	
	20~15×10~15mm程度			
シーリング撤去	撤去・集積	55.4	m	
産業廃棄物処理工		1.0	式	
産業廃棄物運搬		1.0	式	
	2t車 人力 L=6.5km以下			
取壊し発生材運搬(コンクリート殻)		1.0	台	
	2t車 人力 L=6.5km以下			
取壊し発生材運搬(廃プラスチック)		1.0	台	
	2t車 人力 L=2.0km以下			
取壊し発生材運搬(アルミくず)		1.0	台	
産業廃棄物処理		1.0	式	
	中間処理			
コンクリート殻処理	(積算:阿部建材工業(株)音坊処分場)	0.4	t	
	最終処理			
廃プラスチック処理	(積算:阿部建材工業(株)音坊処分場)	0.1	㎡	
アルミくず(スクラップ)	込みガラ	22.0	kg	
共通仮設費(積上げ)		1.0	式	

数量計算書

名 称	規 格 寸 法	数 量 算 式	単 位	数 量
【公共建築数量積算基準P.1より】				
※1. 端数処理は、四捨五入とする。				
※2. 数量は、小数点以下第1位とする。ただし、100以上の場合は整数とする。				
※3. 現地調査結果に基づき、協議のうえ施工すること				
1. 準備工		N=1式	= 式	1.0
(1)外壁面調査	目視、打診、マーキング、計測、図面記入			
外壁面		A= 既存資料より 73.31	= m ²	73.31
外部土間(搬入口)		A= 既存資料より 44.84 + 13.62 + 3.80	= m ²	62.26
			計 = m ²	135.57
			設計数量 = m ²	135.6
2. 仮設工		N=1式	= 式	1.0
(1)足場	手すり先行くさび 緊結式足場600mm	公共建築数量積算基準P.4より		
	10m未満 1か月	東西面 1.0m+1.0m		
		(3.80 + 2.00) × 3.50 × 2.00	= 掛m ²	40.60
		南北面 1.0m+1.0m		
		(5.50 + 2.00) × 3.50 × 2.00	= 掛m ²	52.50
			計 = 掛m ²	93.10
			設計数量 = 掛m ²	93.1
(2)災害防止	垂直養生 メッシュシート 1か月	公共建築数量積算基準P.4より 足場面積(側面部)のみ		
		40.60 + 52.50	= 掛m ²	93.10
			設計数量 = 掛m ²	93.1
(3)養生清掃	外壁	公共建築数量積算基準P.4より		
	足場設置面積	(5.80 × 7.50)	= m ²	43.50
	本体面積(控除)	3.80 × 5.50	= m ²	-20.90
	外部土間	既存資料より 44.84	= m ²	44.84
			計 = m ²	67.44
			設計数量 = m ²	67.4
(4)開口部養生	部分養生	公共建築数量積算基準P.4より		
	スチールドア	A= 2.00 × 2.60	= m ²	5.20
	アルミ窓	A= 1.20 × 0.90	= m ²	1.08
			計 = m ²	6.28
			設計数量 = m ²	6.3

数量計算書

名 称	規 格 寸 法	数 量 算 式	単 位	数 量
3. 塗装修繕工		N=1式 ※現地調査結果に基づき、協議のうえ施工すること	= 式	1.0
外壁				
(1)クラック補修 (1.0mm超過)	Uカット工 エポキシ樹脂充填工法 10×15mm程度 材工共	外壁面(既存資料より) 想定 73.31 × 10%	= m	7.33
			設計数量 = m	7.3
(2)クラック補修 (クラック幅0.3~1.0mm以下)	ボンドOGS工法相 当 エポキシ樹脂注入 幅10 mm・厚2mm 材工共	外壁面(既存資料より) 想定 73.31 × 10%	= m	7.33
			設計数量 = m	7.3
(3)素地調整	ガンダ-工法RB種	外壁面(既存資料より) 73.31	= m ²	73.31
			設計数量 = m ²	73.3
(4)水洗い清掃	高圧ホッパ 10~15MPa	外壁面(既存資料より) 73.31	= m ²	73.31
			設計数量 = m ²	73.3
(5)クラック補修部パターン付	ローラ幅5cm 材 工共	クラック補修(Uカット) 7.33 × 0.05	= m ²	0.37
			設計数量 = m ²	0.4
(6)下地調整	下地調整塗材C-1 塗厚1mm以下 材 工共	クラック補修部 0.37	= m ²	0.37
			設計数量 = m ²	0.4
(7)上塗り	可とう形改修塗材 RE 厚付け ふっ素 下1回中1 回上1回 材工共	外壁面(既存資料より) 73.31	= m ²	73.31
			設計数量 = m ²	73.3
屋外鉄鋼面				
	SD	(既存資料より) 2.00 × 2.60 × 2.60(係数)	= m ²	13.52
	換気用パイプ (内径φ100)	(現地測定) 0.11 × 3.14 × 0.70 × 2.0箇所	= m ²	0.48
			計 = m ²	14.00
(1)素地調整	鉄鋼面RB種	屋外鉄鋼面面積より 14.00	設計数量 = m ²	14.0
(2)水洗い清掃	高圧ホッパ 10~15MPa	屋外鉄鋼面面積より 14.00	設計数量 = m ²	14.0
(3)下塗り	変性エポキシ樹脂ア イ 2回塗り 材工共	屋外鉄鋼面面積より 14.00	設計数量 = m ²	14.0
(4)上塗り(中・上塗り)	耐候性塗料DP ふっ素樹脂塗料	屋外鉄鋼面面積より 14.00	設計数量 = m ²	14.0

数量計算書

名称	規格寸法	数量算式	単位	数量
4. 防水改修工		N=1式 ※現地調査結果に基づき、協議のうえ施工すること	= 式	1.0
外部床防水				
		既存資料より (床防水モルタル+壁防水モルタル)	想定	
(1)既設防水保護層劣化部撤去	モルタル浮き部 t=30mm程度	(44.84 + 13.62 + 3.80) × 10%	= m ²	6.23
			設計数量 =	m ² 6.2
(2)素地調整	RB種ケレン・清掃	既存資料より 62.26 - 6.23	= m ²	56.03
			設計数量 =	m ² 56.0
(3)水洗い清掃	高圧ホッパ 10・15MPa	既存資料より 56.03	設計数量 =	m ² 56.0
(4)既設防水保護層撤去部補修	t=30mm程度 ポリマーセメントモルタル 材工共	既設防水保護層劣化部撤去より 6.23	設計数量 =	m ² 6.2
(5)Uカット (塗膜防水施工の縁切り)	既設防水モルタル 10×10	8.50 × 2.00 + 5.70	= m	22.70
			設計数量 =	m ² 22.7
(6)シーリング	10×10 材工共	Uカット数量と同様 22.70	設計数量 =	m ² 22.7
(7)ウレタンゴム系塗膜 防水工法	X-2 平場 材工共	既存資料より 44.84	設計数量 =	m ² 44.8
(8)ウレタンゴム系塗膜 防水工法	X-2 立上り 材工共	既存資料より 13.62 + 3.80	設計数量 =	m ² 17.4
屋根防水				
(1)既存シート防水層撤去	既存ゴムシート、 アルミ金物含む	既存資料より 33.50	設計数量 =	m ² 33.5
(2)素地調整	RB種ケレン・清掃	既存資料より 33.50	設計数量 =	m ² 33.5
(3)水洗い清掃	高圧ホッパ 10・15MPa	既存資料より 33.50	設計数量 =	m ² 33.5
(4)下地調整	下地調整塗材C-1	既存資料より 33.50	設計数量 =	m ² 33.5
(5)合成高分子系ルー フィングシート防水工法	接着工法S-F2 既存防水撤去	既存資料より 33.50	設計数量 =	m ² 33.5
(6)アルミ金物取付	シート端部押え 金物	既存アルミ金物と同様 23.40	設計数量 =	m 23.4
防水施工板				
(1)表示板(施工歴標)	黄銅製 文字含む 150×250 県仕様	1.00	設計数量 =	枚 1.0

数量計算書

名 称	規 格 寸 法	数 量 算 式	単 位	数 量
6. 産業廃棄物処理工		N=1式	= 式	1.0
1. 産業廃棄物運搬				
(1) コンクリートガラ				
既設防水保護コンクリート		撤去面積 平均厚さ 比重		
		6.23 × 0.03 × 2.3	= t	0.43
発生材運搬	2t車 人力	0.43 ÷ 2t/台	= 台	0.22
		設計数量 = 台		1.0
(2) 廃プラスチック				
建具廻り	15×10	0.015 × 0.01 × 13.40	= m ²	0.002
巾木目地	20×15	0.02 × 0.015 × 18.60	= m ²	0.006
防水シート押え目地	15×10	0.015 × 0.01 × 23.40	= m ²	0.004
防水ゴムシート	t=2mm	33.50 × 0.002	= m ²	0.067
		計 = m ²		0.079
		撤去数量 比重		
		0.079 × 0.35t/m ³	= t	0.028
取壊し発生材運搬	2t車 人力	0.028 ÷ 2t/台	= 台	0.014
		設計数量 = 台		1.0
(3) アルミくず				
アルミ押え金物	H50×W135	幅(高さ) 厚さ 延長		
		0.05 × 0.002 × 23.40	= m ²	0.002
		幅 厚さ		
		0.135 × 0.002 × 23.40	= m ²	0.006
		計 = m ²		0.008
		撤去数量 比重		
		0.008 × 2.7t/m ³	= t	0.022
取壊し発生材運搬	2t車 人力	0.022 ÷ 2t/台	= 台	0.011
		設計数量 = 台		1.0
2. 産業廃棄物処分費				
(1) コンクリートガラ	阿部建材工業(株) 音坊処分場	撤去面積 平均厚さ 比重		
		6.23 × 0.03 × 2.3	= t	0.43
		設計数量 = t		0.4

令和8年度

活性炭注入施設ほか塗装修繕工事

数量計算書

【安達受水池流量計室】

数量総括表

上段:変更
下段:当初

費目・名称・工種・細別	規格・寸法	数量	単位	備考
建築 改修工事				
修繕費		1.0	式	
安達受水池流量計室		1.0	式	
準備工		1.0	式	
外壁面調査		1.0	式	
外壁面調査	目視、打診、マーキング 計測、図面記入	82.7	m ²	
仮設工		1.0	式	
足場		1.0	式	
くさび緊結式足場	手摺先行型 幅600mm 1ヶ月 10m未満 昇降設備含む	95.2	掛m ²	
災害防止	垂直養生 メッシュシート 1か月	95.2	掛m ²	
養生清掃	外壁+外部床	23.2	m ²	
開口部養生	部分養生	6.3	m ²	
塗装修繕工		1.0	式	
外壁改修		1.0	式	
クラック補修	Uカット 可とう性エポキシ樹脂	7.4	m	
クラック補修	バンドOGS工法相当	7.4	m	
素地調整	サンダー工法 コンクリート面 RB種	74.3	m ²	
水洗い清掃	高圧ポンプ 10~15 MPa コンクリート面	74.3	m ²	
クラック補修部パターン付	□-ラ幅5cm 材工共	0.4	m ²	
下地調整(C-1)	塗厚1mm以下 材工共	0.4	m ²	
上塗り	可とう形改修塗材RE ふっ素 厚付け 下、中、上塗り(各1回) 材工共	74.3	m ²	
屋外鉄鋼面		1.0	式	
素地調整	鉄鋼面 RB種	13.5	m ²	
水洗い清掃	高圧ポンプ 10~15 MPa コンクリート面	13.5	m ²	

数量総括表

上段:変更

下段:当初

費目・名称・工種・細別	規格・寸法	数量	単位	備考
	変性エポキシ樹脂プライマー			
下塗り	2回塗 材工共	13.5	㎡	
	耐候性塗料DP同等			
上塗り(中、上塗り)	ふっ素樹脂塗料 材工共	13.5	㎡	
塗装施工板		1.0	式	
表示板(施工歴標)	150×250 アクリルライト 材工共	1.0	枚	
防水改修工		1.0	式	
外部床防水		1.0	式	
	防水保護コンクリート			
既設防水保護層劣化部撤去	t=30mm程度	0.8	㎡	
素地調整	RB種ケレン・清掃	7.6	㎡	
水洗い清掃	高圧ポンプ 10~15MPa	8.4	㎡	
	ポリマーセメントペースト			
既設防水保護層撤去部補修	部分補修(t=3cm程度) 材工共	0.8	㎡	
ウレタンゴム系塗膜防水工法	X-2 平場 材工共	6.3	㎡	
ウレタンゴム系塗膜防水工法	X-2 立上り 材工共	2.1	㎡	
屋根防水改修		1.0	式	
既存シート防水層撤去	既存ゴムシート、アルミ金物含む	35.0	㎡	
素地調整	RB種ケレン・清掃	35.0	㎡	
	高圧ポンプ 10~15 MPa			
水洗い清掃	コンクリート面	35.0	㎡	
下地調整	下地調整塗材C-1 材工共	35.0	㎡	
合成高分子系ルーフィングシート防水工法	接着工法S-F2 材工共	35.0	㎡	
アルミ金物取付	シート端部押え金物 材工共	24.0	m	
防水施工板				
	黄銅製 文字含む			
表示板(施工歴標)	150×250 県仕様 材工共	1.0	枚	
シーリング改修工		1.0	式	
シーリング設置		1.0	式	
防水押端部シーリング	MS-2 (10×7)	48.0	m	

数量総括表

上段:変更

下段:当初

費目・名称・工種・細別	規格・寸法	数量	単位	備考
打継目地シーリング	PS-2 (20×10)	17.0	m	
建具廻りシーリング	MS-2 (10×7)	13.4	m	
ガラス止めシーリング	PU-2 (10×10)	6.0	m	
シーリング撤去		1.0	式	
	20~15×10~15mm程度			
シーリング撤去	撤去・集積	84.4	m	
産業廃棄物処理工		1.0	式	
産業廃棄物運搬		1.0	式	
	2t車 人力 L=5.0km以下			
取壊し発生材運搬(コンクリート殻)		1.0	台	
	2t車 人力 L=27.5km以下			
取壊し発生材運搬(廃プラスチック)		1.0	台	
	2t車 人力 L=2.0km以下			
取壊し発生材運搬(アルミくず)		1.0	台	
産業廃棄物処理		1.0	式	
	中間処理			
コンクリート殻処理	(積算:㈱福島アスコン)	0.06	t	
	中間処理			
廃プラスチック処理	(積算:恵和興業㈱/イワ・リサイクルセンター福島)	0.02	m ³	
アルミくず(スクラップ)	込みガラ	22.0	kg	
共通仮設費(積上げ)		1.0	式	
交通誘導員	交通誘導員B	2.0	人	
工事名表示板		1.0	基	

数量計算書

名 称	規 格 寸 法	数 量 算 式	単 位	数 量
安達受水池流量計室				
【公共建築数量積算基準P.1より】				
※1. 端数処理は、四捨五入とする。				
※2. 数量は、小数点以下第1位とする。ただし、100以上の場合は整数とする。				
※3. 現地調査結果に基づき、協議のうえ施工すること				
1. 準備工		N=1式	= 式	1.0
(1)外壁面調査	目視、打診、マーキング、計測、図面記入	壁 天井		
外壁面		A= 既存資料より 63.32 + 11.00 <small>階段部+ハンドホール平面 階段部+ハンドホール側面</small>	= m ²	74.32
外部土間(搬入口)		A= 既存資料、現地測定より 6.35 + 2.05	= m ²	8.40
		計	= m ²	82.72
		設計数量	= m ²	82.7
2. 仮設工		N=1式	= 式	1.0
(1)足場	手すり先行くさび 系絡式足場600mm	公共建築数量積算基準P.4より		
	10m未満 1か月	東西面 1.0m+1.0m (3.80 + 2.00) × 3.50 × 2.00	= 掛m ²	40.60
		南北面 1.0m+1.0m (5.80 + 2.00) × 3.50 × 2.00	= 掛m ²	54.60
		計	= 掛m ²	95.20
		設計数量	= 掛m ²	95.2
(2)災害防止	垂直養生 メッシュシート 1か月	公共建築数量積算基準P.4より 足場面積		
		40.60 + 54.60	= 掛m ²	95.20
		設計数量	= 掛m ²	95.2
(3)養生清掃	外壁	公共建築数量積算基準P.4より		
	足場設置面積	5.80 × 7.80	= m ²	45.24
	本体面積(控除)	3.80 × 5.80	= m ²	-22.04
	外部土間	既存資料より	= m ²	0.00
		計	= m ²	23.20
		設計数量	= m ²	23.2
(4)開口部養生	部分養生	公共建築数量積算基準P.4より		
	スチールドア	A= 2.00 × 2.60	= m ²	5.20
	アルミ窓	A= 1.20 × 0.90	= m ²	1.08
		計	= m ²	6.28
		設計数量	= m ²	6.3

数量計算書

名称	規格寸法	数量算式	単位	数量
3. 塗装修繕工		N=1式 ※現地調査結果に基づき、協議のうえ施工すること	= 式	1.0
外壁				
(1)クラック補修 (1.0mm超過)	Uカット工 エポキシ樹脂充填工法 10×15mm程度 材工共	外壁面(既存資料より) 想定 74.32 × 10%	= m	7.43
			設計数量 = m	7.4
(2)クラック補修 (クラック幅0.3～1.0mm以下)	ボンドOGS工法相当 エポキシ樹脂注入 幅10mm・厚2mm材工共	外壁面(既存資料より) 想定 74.32 × 10%	= m	7.43
			設計数量 = m	7.4
(3)素地調整	サグ-工法RB種	外壁面(既存資料より) 74.32	= m ²	74.32
			設計数量 = m ²	74.3
(4)水洗い清掃	高圧サグ 10・15MPa	外壁面(既存資料より) 74.32	= m ²	74.32
			設計数量 = m ²	74.3
(5)クラック補修部パターン付	ローテ幅5cm 材工共	クラック補修(Uカット) 7.43 × 0.05	= m ²	0.37
			設計数量 = m ²	0.4
(6)下地調整	下地調整塗材C-1 塗厚1mm以下 材工共	クラック補修部 0.37	= m ²	0.37
			設計数量 = m ²	0.4
(7)上塗り	可とう形改修塗材 RE 厚付け ふっ素 下1回中1 回上1回 材工共	外壁面(既存資料より) 74.32	= m ²	74.32
			設計数量 = m ²	74.3
屋外鉄鋼面				
	SD	(既存資料より) 2.00 × 2.60 × 2.60(係数)	= m ²	13.52
			計 = m ²	13.52
(1)素地調整	鉄鋼面RB種	屋外鉄鋼面面積より 13.52	設計数量 = m ²	13.5
(2)水洗い清掃	高圧サグ 10・15MPa	屋外鉄鋼面面積より 13.52	設計数量 = m ²	13.5
(3)下塗り	変性1K 樹脂脂プライ 2回塗り 材工共	屋外鉄鋼面面積より 13.52	設計数量 = m ²	13.5
(4)上塗り(中・上塗り)	耐候性塗料DP ふっ素樹脂塗料 材工共	屋外鉄鋼面面積より 13.52	設計数量 = m ²	13.5

数量計算書

名称	規格寸法	数量算式	単位	数量
4. 防水改修工		N=1式 ※現地調査結果に基づき、協議のうえ施工すること	= 式	1.0
外部床防水				
		既存資料より(床) 側面 想定		
(1)既設防水保護層劣化部撤去	珪外浮き部 t=30mm程度	(6.35 + 2.09)× 10%	= m ²	0.84
			設計数量 = m ²	0.8
(2)素地調整	RB種ケレン・清掃	既存資料及び現地調査より 8.40 - 0.84	= m ²	7.56
			設計数量 = m ²	7.6
(3)水洗い清掃	高圧ホッパ 10~15MPa	既存資料及び現地調査より 8.40	設計数量 = m ²	8.4
(4)既設防水保護層撤去部補修	t=30mm程度 ホリマーセメント珪砂 材工共	既設防水保護層劣化部撤去より 0.84	設計数量 = m ²	0.8
(5)ウレタンゴム系塗膜防水工法	X-2 平場 材工共	階段床 踏面(2,3段目) ハンドホール 既存資料より (3.75 + 1.50)+((1.43 弁筐半径 弁筐半径 円周率)-(0.325 × 0.325 × 3.14))	= m ²	6.35
			設計数量 = m ²	6.3
(6)ウレタンゴム系塗膜防水工法	X-2 立上り 材工共	既存資料より 階段部側面(全体) ハンドホール側面 1.52 + 0.53	= m ²	2.05
			設計数量 = m ²	2.1
屋根防水				
(1)既存シート防水層撤去	既存ゴムシート、 アルミ金物含む	既存資料より 35.00	設計数量 = m ²	35.0
(2)素地調整	RB種ケレン・清掃	既存資料より 35.00	設計数量 = m ²	35.0
(3)水洗い清掃	高圧ホッパ 10~15MPa	既存資料より 35.00	設計数量 = m ²	35.0
(4)下地調整	下地調整塗材C-1	既存資料より 35.00	設計数量 = m ²	35.0
(5)合成高分子系ルーフィングシート防水工法	接着工法S-F2 既存防水撤去	既存資料より 35.00	設計数量 = m ²	35.0
(6)アルミ金物取付	シート端部押え 金物	既存アルミ金物と同様 24.00	設計数量 = m	24.0
防水施工板				
(1)表示板(施工歴標)	真鍮製 文字含む 150×250 黒仕様	1.00	設計数量 = 枚	1.0

数量計算書

名 称	規 格 寸 法	数 量 算 式	単 位	数 量
5. シーリング改修工		N=1式 ※現地調査結果に基づき、協議のうえ施工すること	= 式	1.0
シーリング設置				
(1)防水押端部シーリング	MS-2 (10×7)	既存資料より 48.00	設計数量 = m	48.0
(2)打継目地シーリング	PS-2 (20×10)	既存資料より 17.00	設計数量 = m	17.0
(3)建具廻りシーリング	MS-2 (10×7)	既存資料より 13.40	設計数量 = m	13.4
(4)ガラス止めシーリング	PU-2 (10×10)	既存資料より 6.00	設計数量 = m	6.0
シーリング撤去				
(1)シーリング撤去	20~15×10~ 15mm程度	シーリング設置延長より 48.00 + 17.00 + 13.40 + 6.00	= m	84.40
			設計数量 = m	84.4

数量計算書

名 称	規 格 寸 法	数 量 算 式	単 位	数 量
6. 産業廃棄物処理工		N=1式	= 式	1.0
1. 産業廃棄物運搬				
(1) コンクリートガラ				
既設防水保護コンクリート		撤去面積 平均厚さ 比重		
		0.84 × 0.03 × 2.3	= t	0.06
発生材運搬	2t車 人力	0.06	= 台	0.06
			設計数量 = 台	1.0
(2) 廃プラスチック				
防水押端部シーリング	10×7	0.010 × 0.007 × 48.00	= m ³	0.003
打継目地シーリング	20×10	0.02 × 0.01 × 17.00	= m ³	0.003
建具廻りシーリング	10×7	0.010 × 0.07 × 13.40	= m ³	0.009
ガラス止めシーリング	10×10	0.010 × 0.01 × 6.00	= m ³	0.001
			計 = m ³	0.016
		撤去数量 比重		
		0.016 × 0.35t/m ³	= t	0.10
取壊し発生材運搬	2t車 人力	0.100	= 台	0.100
			設計数量 = 台	1.0
(3) アルミくず				
アルミ押え金物	W135×H50	幅 厚さ		
		0.135 × 0.002 × 24.00	= m ³	0.006
		幅(高さ) 厚さ		
		0.05 × 0.002 × 24.00	= m ³	0.002
			計 = m ³	0.008
		撤去数量 比重		
		0.008 × 2.7t/m ³	= t	0.022
取壊し発生材運搬	2t車 人力	0.022	= 台	0.022
			設計数量 = 台	1.0
2. 産業廃棄物処分費				
		撤去面積 平均厚さ 比重		
(1) コンクリートガラ	㈱福島アスコン	0.84 × 0.03 × 2.3	= t	0.06
			設計数量 = t	0.06
(2) 廃プラスチック	恵和興業㈱/ワイリサイクルセンター	0.016	= m ³	0.02
			設計数量 = m ³	0.02

